

ZENRAKUREN

MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報

10月からの飲用牛乳値上げに対する 理解醸成活動報告(前編)

平成25年度会員役職員研修
米国視察研修報告

嫁・婿が語る酪農の魅力／富安 麻紀子さん

酪農部だより／全酪連ギフト商品について



酪農トピックス／
平成25年度酪農出前講座「うつくしまも～も～スクール」
開催!! (福島県酪農協より) ほか

酪政連活動報告

日本酪農見て歩紀 (岐阜県高山市 武藤牧場)



11

2013 November No.578



全国酪農業協同組合連合会

阿蘇の大地で 大好きな牛と共に

11月の嫁 大阿蘇酪農業協同組合 富安(旧姓:小戸)麻紀子さん

「嫁が語る酪農の魅力」第16弾として、大阿蘇酪農業協同組合の富安 麻紀子さんにお話を伺いました。



嫁が語る
酪農の魅力

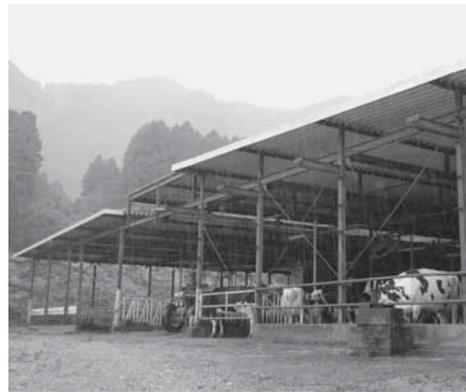
16

富安牧場の概要と、麻紀子さんの
役割を教えてください

富安牧場は、熊本県阿蘇市にあります。所属組合は熊本県酪農業協同組合連合会(吉田孝壽代表理事会長)傘下の大阿蘇酪農業協同組合です。阿蘇市は、熊本市から東へ約50kmの九州山地内に位置し、阿蘇山を中心とした雄大な自然があり、九州屈指の観光地として名高いカルデラや、日本有数の広大な草原を有し、年間多くの観光客で賑わいます。

家族構成は、主人(慎太郎さん)、私(麻紀子さん)、義理の両親(孝亮さん、恵子さん)、長女(いちのちゃん)、義弟(信吉さん)の6人家族です。現在、搾乳牛98頭、未經産牛75頭を飼養しています。

日々の作業は、私、主人、義弟の3人が中心になって行っていて、両親には作業の補佐をしてもらっています。作業分担は特に決めておらず、3人がすべての作業を行えるようにしています。こうすることで、お互い休暇や、万一の怪我や病気で誰かが仕事を休んでもフォローできる体制にしています。



牛舎の様子

「ご主人との出会いから結婚、就農までの経緯について教えてください」

私は福岡市博多区の生まれで、小さいころに競馬中継を見て馬に興味を持ち、馬に乗りたくて熊本県菊池農業高校に進学しました。そこで初めてホルスタインに出会い、酪農の虜になりました。そして、北海道の酪農学園大学に進みました。卒業後は、アメリカでの研修を経て北海道の酪農現場で働くつもりだったので、縁あって阿蘇の高校の農場で臨時教師をすることになりました。任期を終え、再び北海道に渡って大



富安さんご家族

規模酪農経営を展開する法人会社に就職しました。北海道で酪農経営をしたい、と学生時代から思っていたが、九州にいる一人親の老後を考え、そばにいたいと思い、愛馬とともに阿蘇に引っ越しして牛群検定員として働きながら赤牛繁殖を始めました。30歳のときに近所で酪農を営んでいた主人と出会い、愛馬と牛と共に嫁入りました。結婚してしばらく検定の仕事をしていましたが、産休を契機に主人と共に作業をすることになりました。

酪農に対する思い、苦労したこと
について

牛におはよう、おやすみって言う暮らしをしたいと高校生の時から思っていて、牛飼いになれたらいいなとは思っていました。20代前半の実習時代は、休みらしい休みは無く、生活の全てが作業一色。みっちり基礎を叩き込



愛馬の出産



牛が大好き！



共進会でリードマンを務める麻紀子さん

んで頂きました。遊びたいし、おもしろい年頃だし筋肉も今ほど無くても、餌や機械が重たいな、長時間労働でしたが、自分にも、牛好きの友達たちにも負けたくなかったし、理想とする牛を作りたい目標一心に精進しました。その時代があるからこそ、経営に参画した今が面白くて楽しくてやりが

いがあります。

麻紀子さんが思う酪農の魅力について

牛がビジネスパートナーだということ。牛は人間を絶対に裏切らない、そんなパートナーと共に稼げる点が最大の魅力。牛に対して当たり前のことをさちんとしていれば結果が数字となって現れてくること。どんな職種でもそうですが、好きだからこそ、いい仕事ができると思っています。

そして何より、家族と一緒に仕事ができることも素敵だと思っています。私の場合は家族みんなで酪農を楽しむという感覚ですね。先ほどもお話ししましたが、全員がすべての作業を出来るようにして、お互い協力して、余裕を持ってルーチンワークを進めていけることが大事だと思っています。そして、酪農経営はさちんとやることをやっていけば、必ず成果が返ってくる仕事だと思っています。

今後の目標、夢についてお聞かせください

今の経営をさらに充実させ安定させるためには、もう少し経営規模を拡大

しなければと思っています。またその中で、よく働く搾乳素牛の販売、ペットのようなシヨウカウを作りたいと思っています。

そして、私の夢は、将来子供達や消費者の皆さんを牧場に受け入れ、酪農体験を通じていのちの大切さを伝える、酪農教育ファームのような取り組みを行うことです。そして、牧場にカフェを設けて、訪れた方々がこの壮大な阿蘇の自然と共に癒される「サードブレイス」※として開かれた交流の場としていければと思っています。

※サードブレイス：家（ファーストブレイス）でも職場（セカンドブレイス）でもない、第三の居場所。

最後に、ご主人の慎太郎さんより麻紀子さんへ一言お願いします

そうお聞きすると、「いつもありがとう」と照れくさそうに一言！でもこの言葉には慎太郎さんの麻紀子さんへの感謝の気持ちがあふれていたように感じました。

取材中、とにかく明るく元気いっぱいにお話しされる麻紀子さんと、その麻紀子さんを温かく優しい目で見守る慎太郎さんの姿がとても印象的でした。

10月からの飲用牛乳値上げに対する

理解醸成 活動報告 前編

9月28日(土)に東京都秋葉原駅前にて行った理解醸成活動を皮切りに、10月、11月と全国各地で順次活動を行っております。今月号と来月号の2回に分けて、その活動結果をご報告いたします。ご協力いただいた関係者に深く御礼申し上げますと共に、今後も引き続きご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



札幌支所

9月28日(土)、いわみざわ農協A-COOP 6店舗にて、1ℓ牛乳パックを購入した消費者に対し、1会計につき1部ずつレジにてチラシと保冷エコバッグを計500セット配布しながら、牛乳値上げに対する理解を求めました。チラシ内容を踏まえ、「円安では値上げも仕方ない」「あまり高くなっても困るが、ある程度ならば」といった声も聞かれました。

岩見沢農協管内A-COOPにて ▶



仙台支所

10月5日(土)～6日(日)の2日間、福島競馬場内イベント『ごちそう福島』にて、福島県酪農青年研究連盟・婦人部及び県酪職員が、牛乳値上げに対する理解を求めるチラシ・保冷エコバッグ600セットを配布しました。その他、ブースを設けて、エサの値上げなど、現在の日本の酪農を取り巻く厳しい状況についての説明を、牛乳の試飲、牛乳鍋の提供と併せて実施しました。

理解を訴えながらバックを配布 ▶



◀ 値上げ理解を訴える看板



◀ 保冷エコバックは大人気



ご家族そろって説明を聞いて頂きました

10月19日(土)～20日(日)、宮城県仙台市青葉区「勾当台公園」で開催された『みやぎまるごとフェスティバル2013』において、宮城県牛乳・乳製品フェアの一角にPRブースを設け、東北酪農青年女性会議委員・事務局22名が牛乳値上げに理解を求めべく保冷エコバック・チラシ1,400セットを配布しました。チラシを受け取る方の中には、「毎日牛乳を飲めるのは酪農家さんのおかげ。多少の値上げは理解できる」「円安が酪農にまで及んでいるとは」「牛乳は国産が安心ですね」と声をかけてくださる方もいらっしゃいました。

東京支所

10月12日(土)、栃木県那須塩原市「栃木県畜産酪農研究センター」で開催された『栃木県酪農フェア2013』(栃木県畜産酪農研究センター公開デー併催)イベント内の消費者とのふれあいコーナーにおいて、栃木県酪農青年女性会議41名による搾乳体験、牛乳入り豚汁の配布、手作りピザ焼き体験等を行いました。それに合わせて、牛乳値上げに対する理解を求めるチラシ・保冷エコバック300セットを配布し、現在の日本の酪農を取り巻く厳しい状況についての説明を行い一般消費者に理解を求めました。これから県内各地で開催される秋の産業祭の際にもリーフレット等を配布予定です。



◀ とちまる君とチビツの
ツィショット



▶ 保冷エコバック、チラシを配布

名古屋支所

10月14日(月)、愛知県名古屋市「アスナル金山」の『牛乳の未来にチカラをください』(東海酪農業協同組合連合会主催)イベント内で、会場をお借りして中部酪農青年女性会議役員・事務局11名が理解醸成活動を行いました。当日は、消費者アンケートやクイズを実施し、アンケートに回答頂いた方に対し、牛乳値上げに対する理解を求めつつ保冷エコバック・チラシ800セットを配布しました。また、酪農生産者を代表して大井幸男氏(全国・中部酪農青年女性会議委員長)と加藤悠太氏(愛知県酪農農業協同組合)のお二人によるトークショーが行われ、酪農情勢や若手後継者の夢などについての熱い議論が交わされました。今回のイベントに参加させて頂いた東海酪農業協同組合連合会及び関係者各位に心よりお礼申し上げます。



▲ アンケート実施中



▶ 大井委員長と
加藤さんによる
トークショー

大阪支所

10月19日(土)、山口県山口市「きらら博記念公園」において、『きらら産業交流フェア2013』イベントが開催され、山口県酪農青年女性会議委員・事務局5名が理解醸成活動を行いました。ブース毎にのぼりを設置し、牛乳試飲ブース等に来られた方に「10月より牛乳が値上げされていますが、引き続きよろしくお祈いします」「県内の酪農家も頑張っていますので応援して下さい」「生産者のコストが上がっているため、ご理解をお願いします」等の声かけをしながら、保冷エコバック・チラシ200セットを配布し一般消費者に理解を求めました。



◀ ブースは大人気



声かけをしながらチラシを配布

福岡支所

10月12日(土)、熊本県阿蘇郡西原村「阿蘇ミルク牧場」の入場ゲートにて、熊本県酪農青壮年女性部協議会委員・県酪連職員ら14名で、チラシ・保冷エコバック250セットを配布し、一般消費者へ牛乳値上げに対する理解を求めました。エサの値上げなど、現在の日本の酪農を取り巻く厳しい状況についての説明も併せて実施し理解醸成に努めました。



阿蘇ミルク牧場入口ゲートにて



◀ ブースに足を止めて
いただく通行者の方々



▶ チラシで値上げ理由を説明
しながらの配布

また、10月13日(日)、鹿児島県鹿児島市「天文館びらもーる」の一角にて、鹿児島県酪農青壮年会議委員、鹿児島県酪農女性部部長、県酪職員、事務局ら計21名で、牛乳値上げに対する理解を求めべくチラシ・保冷エコバック250セットを配布しました。ブースが設けられ、牛乳、ヨーグルト、フラットホワイトコーヒーの試飲会や乳しぼり体験、骨密度測定などを通して牛乳・乳製品の有効性を啓発し、地産地消と消費拡大を図りました。一般消費者からは、「厳しい環境ですが、頑張っって美味しい牛乳を届けて下さい」などの声が聞かれました。

新規就農 経営移譲 を希望される方

酪農ヘルパー全国協会ホームページの新規就農情報または全国農業会議所の全国新規就農相談センターにアクセスしてみてください。

酪農ヘルパー全国協会



<http://d-helper.lin.gr.jp/newfarmer/index.html>

全国新規就農相談センター



<http://www.nca.or.jp/Befarmer/index.php>

全酪連のホームページからも入れます。

<http://www.zenrakuren.or.jp/>

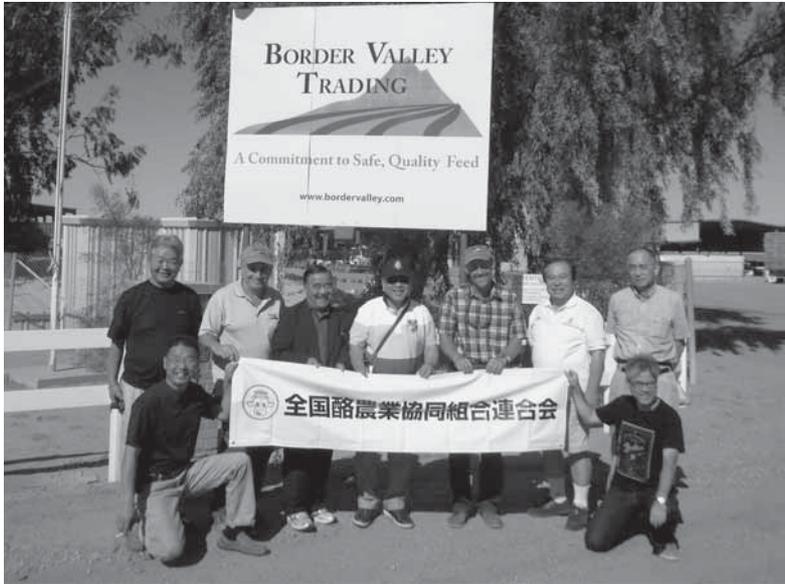


全酪連ホームページのトップ

↓
右下リンク

↓
新規就農情報【(-)酪農ヘルパー全国協会】
新規就農情報【全国農業会議所】

米国視察研修報告



ボーダーバレー社(BVT)入口にて 後列左から大久保組長、BVT ジャクソン氏、但野組長、大槻会長、BVT ブラウン社長、織田組長、肥後常任監事、前列左から全酪連生野、岡本

平成25年9月26日(木)から10月5日(土)の10日間にかけて、平成25年度会員役職員米国視察研修が開催されました。本研修は、米国の穀物情勢や粗飼料情勢を中心に視察研修を行うことにより研鑽を深め、情報の共有化を図ることを目的に毎年開催しております。今回の研修は参加者6名(随行者1名を含む)で、アメリカ中西部での穀物情勢視察及び西海岸での粗飼料情勢視察を中心に、東はシカゴから西はロサンゼルスまでアメリカ大陸を横断する行程で実施しました。以下にその概要を報告します。

CBOT (Chicago Board of Trade) は、1848年にシカゴ地域の穀物商が安定的な穀物取引を目的に設立し、世界に先駆けて先物取引の仕組みを確立しました。2007年にシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)と合併し、現在は世界最大規模の取引所となっています。先物取引とは、価格や数値が変動する商品について、将来の特定時点で特定量を受渡する義務の価格を現時点で決める取引の様態で、生産者から見れば、先物で売ることによって、現物の販売価格が将来低下したとしても利益が守られ、

9月26日(木)
CBOT(シカゴ商品取引所)
イリノイ州シカゴ



平成25年度米国視察研修 参加者

氏名(敬称略)	所属	役職
大槻 和夫 (視察団長)	茨城県酪農業協同組合連合会	代表理事会長
但野 忠義	福島県酪農業協同組合	代表理事組長
大久保 克美	東毛酪農業協同組合	代表理事組長
織田 博吉	佐賀県酪農業協同組合	代表理事組長
肥後 俊一	全国酪農業協同組合連合会	常任監事
岡本 尚之	全国酪農業協同組合連合会	購買部(随行者)



CBOTビルディングの前にて

また購入者から見れば、先物で買うことによって、現物の購入価格が将来上昇したとしてもコストが抑えられることとなります。

CBOTの現在の取扱上場商品は、穀物などの農産物に限らず、あらゆる商品、金利、株価指数、外国為替、エネルギー（電力や原油）さらには天候や不動産等の範囲にまで及び、酪農産品に関するものは、生乳、バター、チーズ、ホエイなどが先物で取引されています。

視察は、丸紅株式会社山口祥吾マネージャー（現地駐在）の同行の下、みずほ証券シカゴ駐在の安丸徹マネーシング・ダイレクターから概況説明を受けた後、見学者用通路から取引フロアの様子を見学しました。フロアには、ピットと呼ばれる8角形の階段状の切欠きが商品ごとに設けられ、以前は売買人が希望する限月によって階段に立ち、独特の手振りで売買を行い、ピット内は足の踏み場もないほどの活況だったとのことですが、最近では電子取引の比重が高くなっているため、取引フロアは比較的閑散としており、取引状況を示す電光掲示板だけが忙しく点滅していました。

9月27日金

穀物栽培農家 イリノイ州シャンペーン

アメリカ中西部のアイオワ、イリノイ、インディアナ、オハイオ各州は、コーンベルト地帯と呼ばれ、この4州で全米のトウモロコシの50%を生産しています。

今回、イリノイ州中部のシャンペン市の穀物農家であるGreg Steirwalt氏を訪れました。



見事に実ったコーン畑にて

Steirwalt氏は1、800エーカーの農地で穀物を栽培し、トウモロコシを7割程度、大豆を3割程度作付けしており、いずれも全てGMO品種とのこと。訪問した日は、トウモロコシの収穫中で、例年よりやや遅延は遅れているものの生育は良く、すでに伝えられているとおり、昨年の中西部の干ばつによる不作とはうってかわって大豊作という状況を実感することができました。畑1枚の広さは半マイル（800m）四方で、8条幅の巨大なハーベスターで豪快に刈り進めていきます。収穫したトウモロコシは、自家用トラクターで地元のカントリーエレベーターに搬入してあります。Steirwalt氏のご好意で、巨大なハーベスターやトラックに同乗する機会を得ることができ、我が国とはまるで異なるスケールの大きさに、皆驚嘆の声をあげていました。



巨大なハーベスターとワゴンによる収穫作業

なお、カントリーエレベーターがトウモロコシを受け入れる際の水分の基準は15%で、これを超過するものは0.1%につき3セント／ブッシェルのデイスカウトになるそうです。そのため、穀物農家では、エレベーター搬入に適した水分となるよう、自己のサイロで保管し、調整を行うとのことでした。

ADM社（巨大穀物商社）
イリノイ州デイクーター

ADM (Archer Daniels Midland) 社は、カーギル社等と並ぶ穀物メジャーのひとつで、米国で生産されるトウモロコシ、大豆のうち各々の約20%、小麦の約30%を取り扱っており、穀物や油糧種子の調達・保管・流通（輸出）・販売とこれらの加工品の生産・販売が主な事業内容です。コーディネーターとして視察に



ADM社にて

同行した丸紅の山口氏の通訳により、輸出担当副社長の Wesley Thimeyer氏から説明を受けました。それによりまず、同社は、全米に約300の穀物集荷用エレベーターと11の輸出用エレベーターを保有し、南米、豪州、欧州、東南アジア等にもネットワークの拡大を図っています。また、同社の大豆搾油の規模は全米の約30%で全米首位、エタノールの生産においても全米2位を占めており、穀物を通じて全世界の食品・飼料・エネルギー等の分野に大きな影響力を及ぼす存在と言えます。

ミシシッピ河 ロック&ダム
イリノイ州アルトン

アメリカ国内輸送の大動脈であるミシシッピ河は、上流のミネアポリスから中

米国視察研修報告



はしけを通す水路

流のセントルイスまでの約1,200kmの区間において、120mもの高低差があり、この高低差ゆえに船の航行が困難な浅い場所があるため、水位を調整して船の通過を可能にする水門とダム（ロック&ダム）が29か所存在します。これらは重要な物流関連施設であるため陸軍の管轄となっており、視察したメルビンIIプライス ロック&ダムは上流から数えて26番目にあたります。その川幅は約350mで、施設の全長は約1.2km、水位を調整する水門は12m×33mのものが9基あり、水門の開閉は水の重力によって行われ、通過するには約45分を要します。



フーバーダムの偉容

バージ（はしけ）による河川輸送は、エネルギー効率でトラックの3倍以上優れます。

フーバーダム（Hoover Dam）は、ラスベガスの南東約50kmのアリゾナ州とネバダ州の州境に位置するコロラド川のブラックキャニオンにあり、1931年（昭和6年）から5年間をかけて建造さ

9月29日

フーバーダム ネバダ州ラスベガス郊外

れ、CO₂の排出量はトラックの3割程度と環境への影響も少なく、全米の輸送量のうち、石炭の20%、石油及び石油製品の22%、輸出入穀物の60%がミシシッピ河を利用していているということです。

れました。当時のルーズベルト大統領が進めた世界恐慌克服のための景気回復策（ニューディール政策）の一環として造られ、その名称は着工当時のフーバー大統領にちなんでいます。堤高221m、堤長（幅）379mの巨大なアーチ式ダムで、建設には当時最先端の土木技術を尽くし、260万m³のコンクリートが用いられました。実際に堤頂に立ってみると、その偉容に足のすくむ思いがし、昭和初期にこのような大規模建造物を完成させたアメリカの国力に改めて驚かされました。

フーバーダムによって堰き止められてできた人造湖はミード湖といい、その貯水量は約400億tで、我が国にある全てのダムの貯水量の合計が250億t程度であることを考えると、これまたとてつもない規模です。ミード湖の水は、水力発電により大都市ロサンゼルスや周辺諸州に電力を供給するほか、飲料水、工業用水、灌漑用水の供給源となっています。なかでも、我が国酪農にとって重要な乾牧草生産地であり、野菜や果実の大生産地でもあるカリフォルニア州南部のインペリアルバレーに灌漑用水を供給しており、フーバーダムをめぐる水関連政策の動向は、米国のみならず世界の農業や食料事情に影響を与えうるものと言えます。

なお、従来はダムの堤上が幹線道路として利用され、交通量増加によるダム本体へのダメージが懸念されたことや渋滞

の解消の必要から、2010年にダムを跨ぐコロラドリバー橋が建造されました。長さ580mの北米最大のアーチ橋で、施工は我が国の大林組が実施しました。

10月1日

ボーダーバレー社（乾牧草サプライヤー） カリフォルニア州ブローリー

ボーダーバレー社（Border Valley Trading）は、1989年に設立され、インペリアルバレーの中心エルセントロに隣接するブローリーに本社と工場を有する他、北カリフォルニアのサンホアキンバレーにもターロック工場があり、現在はカリフォルニア州最大の牧草輸出業者となっています。視察では Gregory Braun 社長と Greg Jackson 営業部長から説明を受けました。

インペリアルバレーは、カリフォルニア州南東部からメキシコにかけて広がる砂漠性の気候下にある盆地で、大部分が海面以下の標高です。まさに視察したフーバーダムが1936年に完成し、その後1940年にコロラド川とインペリアルバレーを繋ぐオールアメリカンキャナル（運河）が造られると急速に灌漑化が進み、現在では45万エーカー（18万ha）の耕作地で、野菜類（レタス、ニンジン他）を中心に牧草、果樹、小麦など年間を通じて様々な農産物が作付けされています。

ボーダーバレー社では、アルファル

ファ、スーダン、クレイニンググラス、バミューダ等の幅広い草種を取り扱い、ブローリー工場に6台、ターロック工場に3台のプレスマシーン（圧縮梱包機）を備え、その生産能力は合わせて年間28万t、保管能力は14万tと北米でも有数の規模です。牧草の主な輸出先は日本をはじめ中国、韓国、台湾などのアジア諸国、UAE他の中東諸国です。これらのうち、際立った動きを示しているのは中国と中東諸国で、中国では近年、食品の安全性の問題がクローズアップされる中で、酪農乳業界では大手乳業メーカーの大規模直営牧場の勢力拡大が著しく、月間数千〜1万頭もの乳牛が豪州やニュージーランドから継続的に導入されているようです。これに伴って、米国产ア



ボーターバレー社にて



乾牧草のプレス設備を見る

ルファルファの対中国輸出も急拡大し、2008年にはゼロに近かったものが、2012年は日本（45万t）を上回る50万tを記録、2013年は60万t、将来的には100万tに達するのではないかと見られています。一方、中東諸国にあっては、貴重な水資源を農業生産に向けるよりも、必要なものは海外から輸入する政策が打ち出されており、牛やラクダ、ヒツジ、ヤギ用の牧草輸入量がやはり急拡大しています。UAEは2012年に日本を上回る60万tの米国产アルファルファを輸入しており、中東諸国に対する米国产牧草の輸出は今後も拡大を続けると思われる。

概況説明を受けた後、本社工場での生産状況（加工、梱包工程）や保管状況を視察しました。あわせて生野サンフランシスコ事務所長から、全酪連の粗飼料検

品買付の概要について説明し、サンプリングと分析値の確認を徹底して行い、安心・安全な乾牧草を日本に届けていることを参加者に理解いただきました。

また、訪問日の時点で、すでに本年のスーダングラス、クレイニンググラスの収穫は終わっており、圃場での作業を見学することは叶いませんでしたが、米国内向けアルファルファの生産圃場に灌漑用水を引き込んでいる様子を見ることができました。インペリアルバレーでは、揚水ポンプ等は一切使わずに、地形の高低差のみを利用した灌漑を行っており、利用された水はもともと標高の低いソルトンシー（Saltion Sea、海面下70m）に流れ込みます。ソルトンシーには自然河川の流入と流出はなく、化学肥料などで汚れた灌漑排水が流れ込むのみで、その結果塩分濃度の上昇と水質汚濁が進み、湖岸には無数の魚の死骸が打ち上げられて異



灌漑水路の末端部を見る

臭を放っていました。

終わりに

我が国酪農をとりまく経済環境は依然厳しく、配合飼料価格は昨年来の高止まり、粗飼料についても円安のダメージが一気に日本側に押し寄せているような状況下で、加えてTPP交渉の行く末も不透明な中での渡米でした。それだけに、現在の状況や環境を理解しようとする視察団一同の関心度は極めて高く、今後の日本酪農を地域で盛り立てていくための指針や情報を積極的に求めようとする姿勢に満ちていました。

私も全酪連としましても、配合原料や粗飼料を輸入に依存せざるをえない日本酪農の現状を見据え、米国をはじめとする世界的な需給を正しく理解した上で、我が国の酪農経営にプラスとなる方向を見定めることが重要であり、このことが、本会が将来ビジョンにて打ち出した「酪農生産基盤の維持・拡大」の実現にもつながるものと考えます。そのためにも、会員各位と現地の最新情報を共有し、ともに考える機会となったこの度の視察研修は、極めて大きな意義を持つものであったと感じています。

最後になりましたが、同道させていただきました研修参加者の皆様と、随行の機会を与えていただきました関係者の皆様に感謝いたします。有難うございました。

（全酪連購買部 岡本尚之）

福島県酪農協より

平成25年度酪農出前講座「うつくしまも～も～スクール」開催!!

福島県立盲学校にて、も～も～スクールを開催!!

「牛乳を届けてくれて、ありがとう」という感謝の言葉・表情をたくさん頂きました!!

10月1日(火)に福島市の福島県立盲学校において、県北酪農研究会(佐藤正仁会長)主体のも～も～スクールを開催しました。7月の郡山市立安積第一小学校の「サマースクール」に続き今年2回目の開催となりましたが、搾乳牛や子牛を学校に連れていき、子供達との触れ合い体験を行いました。

当日は、盲学校小学部、聾学校福島分校小学部、幼稚部の21名の子供達が「バター作り」「酪農についての話」「子牛との触れ合い」「搾乳体験」を行いました。

始めに、安藤校長先生から「今日の授業で、給食の時に飲んでいる牛乳がどのように作られているのかを学び、食と命について学んでほしい」と挨拶がありました。

バター作り体験では、牛乳と生クリームからバターができることに興味を持ち、一生懸命にバターを作ったり、自分の作ったバターを美味しそうに食べたり、残すのがもったいないと完食するなど、楽しく学んでいました。

酪農についての話コーナーでは、酪農家から酪農の話や牛のえさなどについての話があり、耳の不自由な子供達は先生が手話を交えながらの説明を受け

ました。「おっぱいの出ない牛や男の子の牛は、お肉になっちゃうんだよ!!」という話に1人の男の子がびっくりし、その後自分は牛ではないことにほっとした表情を浮かべたのが印象的でした。

子牛との触れ合いコーナーでは、ブラッシングをしたり鼻や口の中を触ったり、酪農家さんへ質問し説明を聞いたり、体の大きい子牛もいましたが、子供達も怖がらず、子牛と触れ合い体験を行いました。

搾乳体験では、目の不自由な子供達も牛を触り、肌触りや感触を感じ取りながら、積極的に体験に参加しました。

体験最後には、バケツ搾乳の様子を見ながら、閉会式を行い、牛乳を大好きだという盲学校・聾分校の子供達から、『牛乳を届けてくれて、ありがとう』という感謝の言葉や表情、歓声をたくさん頂きました。

このような活動を通し、酪農について、子供達が学ぶ楽しさや酪農家が教える楽しさを知りながら、これからも開催して参りたいと思います。ご協力いただきました皆様に感謝致しますと共に、今後ともよろしくお願い申し上げます。

(W.H)



▲ 子牛を触り、肌触りや感触を手で感じ取る

▶ 搾乳体験で乳搾りに挑戦!!



◀ 酪農の話を手話にて伝え、子供たちが学ぶ

札幌
支所発

北陽幼稚園に初訪問!!



北海道酪農青年女性会議（引頭玉枝委員長）は、10月17日(木)に、千歳市北陽幼稚園を訪問しました。この幼稚園は初めての訪問であり、参加した委員は、園児たちに牛乳へ親しみを持ってもらおうと、等身大牛タペストリーや牛の着ぐるみ・紙芝居を使って酪農家の生活や牛乳ができるまでなどの説明を行い、

200ml牛乳をプレゼントしました。

引頭委員長の「みんなは牛乳好きかな？」との声掛けに、園児たちは元気よく「はい」と答えていました。また、牛の着ぐるみに大喜びで、抱き着いたり、握手を求めたりと、終始和やかな雰囲気でした。（T.K）



▲ 説明を行う引頭委員長



▲ 牛乳のプレゼント



▲ 記念写真

東京
支所発

牛乳は大地からのメッセージ！ 「ミルクメッセ2013いばらき」

10月5日(土)～6日(日)、茨城県ひたち海浜公園において、茨城県牛乳普及協会及び茨城県酪農業協同組合連合会主催の「ミルクメッセ2013いばらき」が開催されました。

当日は、茨城県農林水産部佐野元彦畜産課長のご挨拶があり、また、多数のご来賓のご出席もいただきました。

2日間にわたり、多くの催し物がありました。子どもたちに人気の「ふれあいミニ牧場コーナー」や「ちち搾り体験コーナー」、「ロールボールサイレー

ちち搾り体験コーナー ▶



◀ ふれあいミニ牧場コーナー



◀ ラッピングの様子



▲ ロールボールサイレーづくり大会

ジらくがき大会」に「トラクター展示」などです。「牛乳パック工作教室」では親子で牛乳パック帽子を作成していました。他にも「骨密度測定コーナー」、「ふれあいスタンプラリー」、「バターチャーンの実演と試食」、長蛇の列ができた「ミルクおしるこ試食コーナー」、それに加え「ミートフェア2013」との同時開催のため多くの方に足を運んでいただけました。

天候には恵まれない時もありましたが、子どもたちが大きな牛とふれあい「あったかい」とほほ笑む姿がとても可愛らしかったです。このような催しを通して、消費者と農業者がお互いの理解を深め、より安全でより美味しい農産物へとつながることを期待します。

(S.T)

東京
支所発

「栃木県酪農フェア2013」

— 第24回栃木県ホルスタイン共進会 —

標記、「栃木県酪農フェア2013」並びに「第24回栃木県ホルスタイン共進会」が、10月12日(土)栃木県畜産酪農研究センター（栃木県那須塩原市千本松）にて開催されました。当日は抜けるような晴天に恵まれ大盛況となりました。この日は「理解醸成活動」の一環で作成しました保冷エコバックやチラシを配布いたしました。栃木県酪農青年女性会議

の協力の下、「ミルク入り豚汁配布」や「手造りピザ体験教室」などのコーナーが設けられ、チビッツたちにも大好評でした。また、共進会については、合計11部で審査があり、名誉賞、ベストアダー賞（経産牛の部）などを選出しました。

来年も開催されると思いますが、お天気は是非今年のものであって欲しいです。 (S.T)



▲ 手づくりピザ教室開催中！



◀ 牛乳キャラクターは大人気



会場の様子 ▲▶



飛騨酪農協より

飛騨酪農青年部・女性部

「第27回飛騨高山クリーン作戦」に参加

10月6日(日)、高山市「原山市民公園」周辺において、「第27回飛騨高山クリーン作戦」（高山市快適環境づくり市民会議主催）に飛騨酪農青年部、飛騨酪農女性部、酪農部職員延べ約10名が参加しました。

今回の活動では、清掃活動（ごみ拾い）を行うとともに、特定外来植物として近年問題になっている「オオハンゴウソウ」の駆除も行いました。オオハンゴウソウは種子だけでなく地下茎や埋土種子で繁殖することができ、単純に刈り取るだけでは根絶は難しく、スコップなどで根ごと引き抜かなければなりません。

回収した特定外来植物「オオハンゴウソウ」やゴミは、2t車一杯になりました。そのため参加者は日差しの下で、町の美化のために汗を流しました。また、終了後、一般市民の参加者には牛乳をふるまい「ボランティアのあとの牛乳はうまい」とおっしゃっていただきました。

（飛騨酪農農業協同組合 酪農部 丸山雅義）

▶ 除草作業



▲ クリーン作戦完了

◀ 支所発

大阪
支所発

兵庫県酪連主催「初妊牛展示購買」を開催

10月12日(土)、全酪連大阪支所兵庫供給センターにおいて兵庫県酪農農業協同組合連合会主催による「初妊牛展示購買」が開催されました。今回は札幌支所管内より15頭の初妊牛が選定され兵庫に到着しました。全てがホルスタイン(内5頭は雌雄選別精液を授精)腹です。当日は北海道産のじゃがいもや鮭料理も提供されるなど、お祭りの様な雰囲気の中、

多くの酪農家に集まって頂き、兵庫県酪連丸尾副会長のご挨拶の後、総額提示方式による入札が行われました。厳しい情勢の中ですが前向きに生産に取り組む方が多く、無事全ての牛の購買が成立しました。これらの牛達の今後の活躍を祈りたいと思います。

(S.T)



▲ 丸尾副会長



▲ 真剣に選畜する入札者

大阪
支所発

「第15回まきば祭」を開催

9月29日(日)に大山乳業農業協同組合(幅田信一郎代表理事組合長)主催の「第15回大山まきば祭」が、まきばみるくの里(鳥取県西伯郡)で開催されました。昨年は大風の影響で前日になって中止されてしまいましたが、今年は快晴に恵まれ、「まきばから広げよう 牛乳でつながる笑顔の輪!」をスローガンに、5,000人ももの来場者を迎えることができました。

幅田組合長の挨拶に続き、来賓が祝辞を述べられ、華々しく各種イベントが開始されました。ス



▲ 会場を埋め尽くす来場者

▶ 乳搾り競争



テージでは“プロに挑戦”と題して乳搾り競技、地元の子供たちによるヒップホップダンスが行われ、芝生会場ではポニー乗馬体験あり、ロールペイントコーナーあり、組合がスポンサーとなっているガ

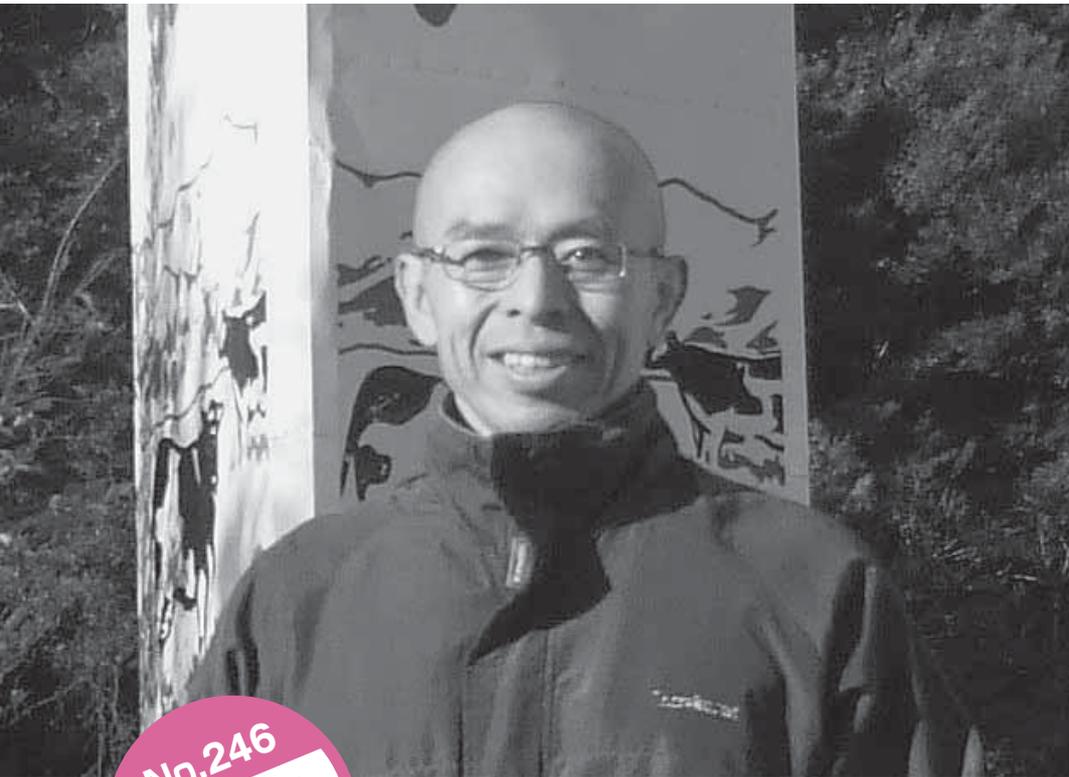


▲ 親子でクレープ作り

イナーレ鳥取スタッフによるサッカーコーナーが設けられるなど、イベントが盛りだくさんでした。また、ヨーグルトクレープの講習会やお馴染みのバター手作り体験などが行われました。

最後にまつりを締めくくる大ビンゴ大会が行われ、豪華景品を目当てに数字が読み上げられる度に大きな歓声が巻き起こり、親子で楽しい1日を満喫できるまきば祭でした。

(S.T)



▲ 経営主の康司さん

No.246
武藤牧場
岐阜県高山市

飛騨で酪農を続けたい

— 組合と生産者との強い団結力 —

地域の紹介

今回は岐阜県高山市久々野町の武藤牧場をご紹介します。

高山市は岐阜県の飛騨地方の中心部に位置し、古くは江戸時代の天領として発展し城下町・商家町の姿が保全されており、その景観から「飛騨の小京都」と呼ばれる歴史のある町です。

春と秋の高山祭りは特に有名で、多くの観光客でにぎわう観光地でもあります。また、周囲を山に囲まれ盆地に発展した高山市は、平成17年2月に周辺9町村と合併したこともあり、管内の面積は合併以前と比べ非常に広大な市域となりました。東京都とほぼ同じ面積で、府県の面積より広い市町村としては全国唯一です。

そして、「飛騨牛乳」として知られる酪農や、肉用牛の肥育で有名な「飛騨牛」の生産が盛んな地域でもあります。

武藤牧場が所属する飛騨酪農農業協同組合（馬瀬口弘志代表理事組合長）は、酪農家戸数30戸、生乳生産量は12,179t（24年度）、乳業プラントを持ち、「飛騨牛乳」として販売しています。

経営概況

経営主の康司さん（44歳）は、新規就農してから今年でちょうど10



牧場入口

年の節目を迎える異色の酪農家です。飛騨酪農農業協同組合に所属し、組合理事としても忙しい日々を過ごしており、組合の中心的存在となっています。

康司さんの家族は、奥さんの見子

▶牛舎内



さん、長女の芙美さん（高校1年生）、長男の大悟くん（中学2年生）、次男圭汰くん（小学校6年生）の5人家族です。

武藤さん宅は、高山市内に位置し、牛舎は自宅からさほど遠くない高山市郊外の久々野町近くの飛騨川沿いで、川を渡った牛舎入り口には大きな「飛騨高原牛乳」の看板が設置されており、対岸の国道からの景観も見

事です。

現在、飼養頭数は59頭（経産牛47頭、未経産牛4頭、哺育牛8頭）で、育成牛32頭は岐阜県畜産公社東濃牧場に預託しています。年間生産乳量は482.7t（24年度）、年間平均の乳成分は乳脂肪率3.68%、無脂肪固形分率8.83%で、体細胞数は平均15.3万とのこと。

牛舎はつなぎ牛舎を改造・増設したフリーバーン牛舎で、搾乳は8頭シングルパラレルパーラーシステムで作業をしています。牧場の仕事は、康司さんと奥さんの2人で従事しており、搾乳・飼料給与・堆肥処理を康司さんが担当し、奥さんは重要な搾乳と哺育を担当しています。

糞尿処理は、全体量の半分を市内の堆肥センターへ持ち込み、残りは戻し堆肥としてフリーバーン牛舎に



仔牛用ハッチ

牧場の歩み

武藤牧場の歩みは、普通の酪農家の歩みとは少し異なっています。

康司さんは、帯広畜産大学の獣医学科を卒業後、島根県で獣医師として3年の経験を積み、その後、出身

還元しています。また、近隣農家への販売もあると伺いました。

飛騨地域は江戸時代の天領でもあり、古くから林業が盛んな地域で、堆肥には欠かせない木材チップ（おが粉）等が豊富に利用でき、牛舎環境の保全にも役立っているとのこと



パーラー室

飼養管理

康司さんの飼養管理方法はシンプルなもの。朝1回TMRを給与するだけで、給餌にあまり時間を掛けない合理的な考えです。TMR飼

県である愛知県のお隣の岐阜県瑞浪市の職員として6年間勤務するという経歴の持ち主です。そして、再度転職した先が、自然を相手とする夢のある酪農家でした。

近年の厳しい酪農環境ではありませんが、奥さんと家族の支えを受け、飛騨の地で新たな酪農経営に取り組んでおられます。



堆肥置場



ヒッツFM生放送(前列左から2人目)

料の中身は、本会配合飼料にとうもろこし、大麦、みりん・醤油・おから等の粕類、スーダン・アルファルファ・オーツヘイ等の購入粗飼料、そしてWCS（稲ホールクロップサイレージ）等です。WCS生産については、近隣の耕種農家へ委託しており、年間を通してTMRに利用しているとのこと。

TMRに使用している粕類やWCSを効率的に活用して給与すること

ような飼養管理ができるのも、獣医師の目で一頭一頭の個体管理がしっかり行えているからであろうと強く感じました。牛舎内環境も清潔に保たれており、特に子牛用ハッチは康司さんの手作りだと伺い、ますます感心させられました。

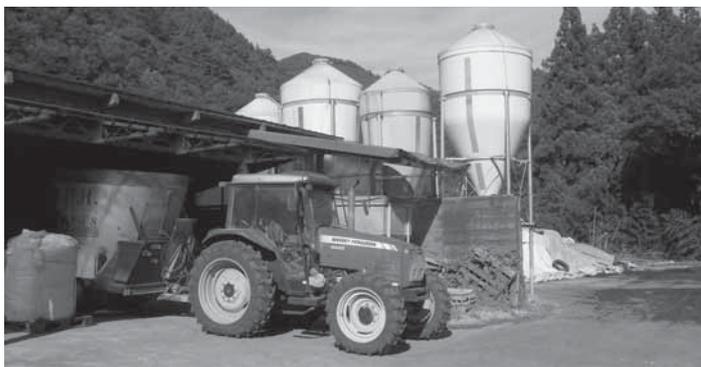
地域活動と余暇

康司さんは飛驒酪農農業協同組合の理事、組合青年部、そして東海酪農協同組合連合会や岐阜県酪農農業協同組合連合会の生乳委託者委員でもあります。酪農にかかわる様々な問題に対応する立場から、現在の厳しい酪農環境を打破するために、一般消費者等に対する理解醸成活動を行う中心的立場にあります。

全酪連会取材当日も地元ラジオ局（ヒッツFM）の公開生放送に出演し、酪農の置かれている厳しい環境や、牛乳乳製品の消費拡大に理解を得るべく熱心に話されていました。

このような忙しい日々のなかで、余暇は何をされているのかと伺ったところ、趣味のサイクリングやスノーボードを楽しんでいるとのことでした。まだまだお若く、そして楽しんでエネルギーシユなんだらうと感じました。

健康管理についてもお聞きしたところ、ヨーグルトを毎日食べている



TMRミキサーとけん引トラクター

とのことでした。この話は私も含めた一般消費者の皆さんにも、心の片隅に少しでも留めていただければと強く感じました。

今後の課題

武藤牧場には大きな問題はないように思われましたが、康司さんに今後の目標について伺ったところ「当面の目標は生乳生産量2t/日を目指したい」と明確な目標を掲げてらっしゃいました。今後の康司さんに大きな期待を感じずにはいられませんでした。

また、康司さんが「飛驒で酪農を



乾草倉庫とフォークリフト

続けたい」と力強く話されたことが、心に深く刻み込まれました。飛驒酪農農業協同組合と酪農生産者が一致団結し、酪農という仕事に誇りを持ち、自分たちの高品質な生乳から出来た乳製品に誇りと自信を持ってらっしゃることを感じました。

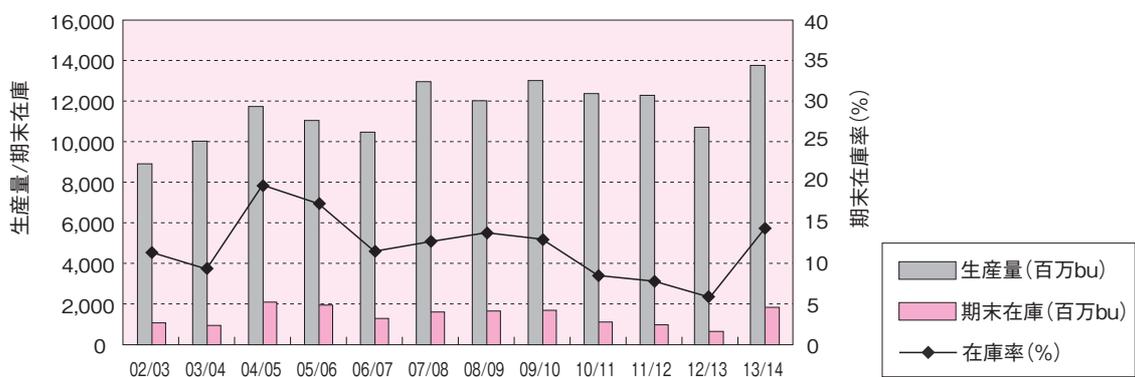
飛驒酪農農業協同組合はヘルパー事業や牛群検定組合の体制が充実しており、酪農生産者は今後も安心して酪農を続けていける環境が整っているとあります。

最後に武藤牧場の今後のますますの発展をお祈りしつつ、今回の取材を終えました。

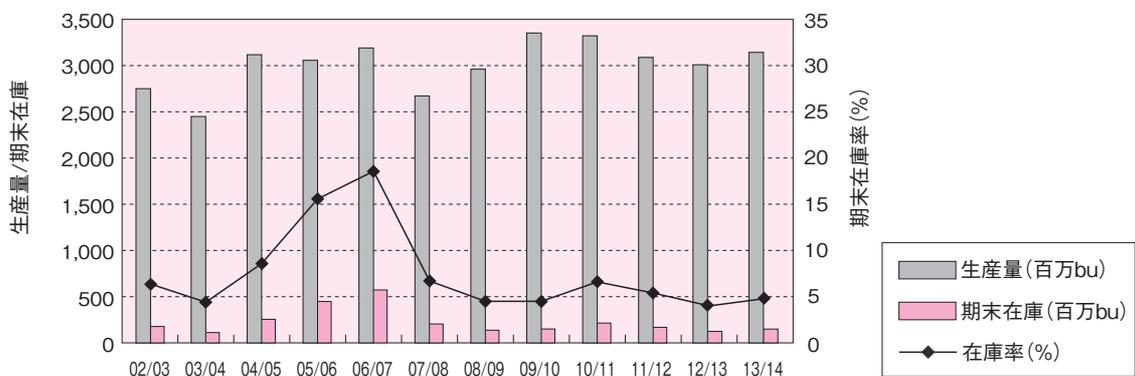
原料情勢 平成25年10月

米国農務省 トウモロコシ 需給予想	10月11日発表予定の需給予想は米国の予算審議に絡む政府機関の機能停止に伴い発表は中止となった。
トウモロコシ 相場動向	9月発表の需給予想で新穀の単収と期末在庫数量が事前予想を上回ったこと、産地では乾燥気味の天候となり収穫も順調に進んだことから弱含みの展開となった。また9月末の四半期在庫報告で旧穀の在庫数量が事前予想を上回ると3年振りの安値となる430¢半ばをつけた。10月以降は上記発表が中止になるなど材料に乏しく、440¢前後の展開となっている。米国では豊作が見込まれるが、相場下落の影響を受け作付けの始まった南米では面積が減少しており、先行きは不透明となっている。
国内産大豆粕	現在のシカゴ大豆相場は、南米の増産見込みや米国の単収が改善する可能性があることから軟調に推移している。このため、国産大豆粕価格は若干の弱含みで推移している。輸入大豆粕についても、シカゴ相場程ではないが弱含んで推移している。今後については、米国の大豆生産量や米国以外の産地の大豆生産量、中国の需要等が、相場に影響すると思われる。また、為替動向にも引き続き注意する必要がある。
槽糠類	フスマの発生量は若干増加している様子。使用量については大きな変動はない状況。このため、需給は多少改善してきていると思われる。しかし、一部の港については受け渡しが遅れ気味となっているので注意が必要。グルテンフィードについては、発生量が減少しており、需要は変化がないため需給は締まったままとなっている。また、フスマ同様一部の港では受け渡しが不安定になる可能性がある。輸入品は割高となっており、使用量が減少しない限り、需給は締まったまま推移する見込み。
海上運賃	原油相場は低調な米雇用関連指標等を背景に弱含みの展開が予想される。しかし、海上運賃は、南米からの中国向け鉄鉱石輸出増、北米穀物輸出の本格化に伴い船腹需給が逼迫することが予想され、総じて強含みの展開が予想される。

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移



※先月号と同じグラフを掲載

輸入粗飼料の情勢

平成25年10月

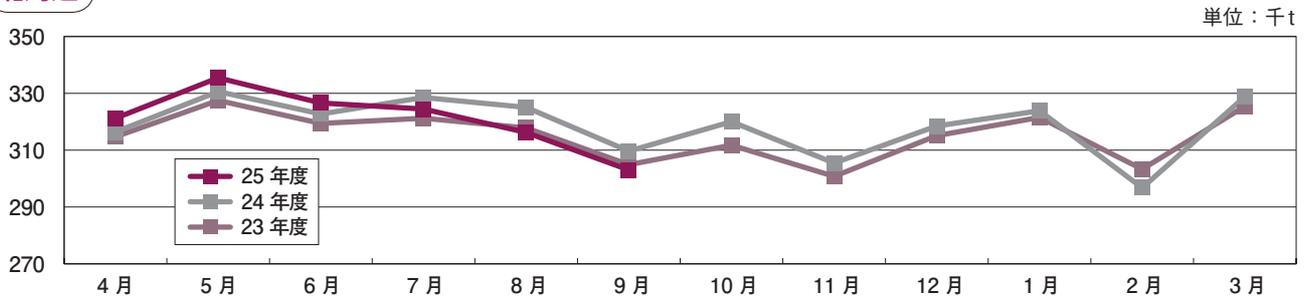
北米コンテナ船 フレート	10-12月分のBAF(燃料費調整係数)は、10月から\$5の値上げ実施が予定されている。10月1日付のGRI(基礎レート)\$100値上げは、一部の航路のみ実施する船会社もあるなど、会社毎に実施内容が異なる。PSWのロサンゼルス/ロングビーチ港では船腹スペースに余剰感あり。PNWでは輸入量が輸出量に追いついておらず、空コンテナが不足した状態が続く。年末に向け船積み遅延が多く発生する時期を迎えるため、注意が必要。
ビートパルプ	<p>【米国産】13年産ビート大根の収穫は9月上旬から、製糖とビートパルプ生産は9月中下旬から開始と、例年よりも遅い進捗。砂糖の相場価格が低調に推移しており、かつ作付の遅れによる単収減が予想されることから、13年産の作付面積・生産量は過去5年の平均より減少する見込み。</p> <p>【中国産】13年産作付面積が前年よりも減少し、また生育中の天候も良くなかったため、生産量は前年比25%減と伝えられている。国内向けの需要がさらに増えることが予想されるため、韓国や日本向けの輸出量は今後も限定的になる見込み。</p>
アルファルファ ファハイ	<p>【ワシントン産】13年産について、1番刈は雨当たり被害が多く発生し、2番刈は生育中に暑く乾燥した気候が続き、分析値の良くないスタックが発生した。3番刈は雨当たり品や色あせが目立つスタックが多く発生し、4番刈も4割雨当たりが発生と、全ての番手で良品の発生が少ない結果となった。日本向けはPSW産にシフトしつつあるが、UAEや中国向けはワシントン産も引き合いが順調なため、産地価格が下支えされる要因となっている。</p> <p>【オレゴン産】クリスマスバレーでは、1番刈は4割、2番刈は8割が雨当たりとなり、3番刈については降雨の影響により収穫スケジュールが遅延し、収穫適期を過ぎた圃場もある模様で、厳しい作柄となることが予想される。クラマスフォールズでは、1番刈で2～3割の雨当たりが発生したが、2番刈、3番刈については大きな雨当たり被害が発生していない。</p> <p>【ネバダ産】1番刈は2～3割の雨当たり被害が発生した。2番刈は、生育中に暑く乾燥した気候が続き分析値の良くないスタックが発生した。8月上旬から開始された3番刈についても雨当たり被害が多く発生している模様。</p> <p>【ユタ産】1番刈は雨当たり被害がほとんどなく、2番刈は5割の雨当たり被害、3番刈も雨当たり被害が多く発生し、良品は限定的と伝えられている。産地では現在4番刈の収穫が進んでいる。UAEや中国向けの需要増により、サプライヤー間での買付競争が激しくなっており、産地価格も順調に推移している。</p> <p>【カリフォルニア産】北カリフォルニアの2番刈は良品が多く発生したが、3、4番刈は色あせが目立つスタックが多く、5番刈は雨当たり被害が発生している。現地では、現在6番刈の収穫が開始されている。インペリアルバレーでは、8番刈の収穫が進んでいる。品質が落ちる「サマーヘイ」と呼ばれるアルファルファは、近年国内・海外からの需要が強く、今年も価格が弱含むことなく推移している。</p>
チモシー	<p>【米国産】主産地のコロンビアベースンとエレンズバーグでは、1番刈で8割の雨当たり被害で、2番刈も雨当たり被害が多く発生している模様。産地価格も軟化予想から堅調に推移し、中間以上のグレードはさらに高騰している。また、10月出港分から屋内くん蒸費用を加算予定であり、他草種への移行も視野に入れる必要があると思われる。</p> <p>【カナダ産】レスブリッジの1番刈は雨当たり被害が発生しており、ハイグレード品の発生は限定的。9月下旬から始まった2番刈の収穫も、降雨のため収穫が中断されている模様。ドライランドの1番刈も雨当たり被害によりハイグレード品の発生は限定的で、馬用プレミアム品は皆無に近い状況だと伝えられている。カナダ産も作柄は悪く、また米国のサプライヤーも自社不足分を補うため買付に来ており、産地価格は高騰している。</p>
スーダン	【インペリアルバレー産】1番刈は、収穫前に暑い気候が続いたこともあり、茎サイズにバラつきがあり、予想以上に茎細品が少ない模様。早播きの2番刈や、小麦収穫後に播種する遅蒔き(アフターウィート)は、茶葉混じりのスタックが多く発生した。8月下旬、9月上旬に豪雨が降り、集荷済みスタックにもダメージが発生したため、予想以上にロスが発生することも懸念されている。チモシーの情勢から引合いは強くなっているが、茎細品やきれいなスタックが少ない上、買付がほぼ終了しているため、日本向けの需要は北カリフォルニアやワシントン州にも移行していると伝えられている。
クレイン グラス	インペリアルバレーの9/15時点での作付面積は前年対比112%。1、2番刈は良品の発生が多く、3番刈は色あせが目立つスタックの発生もあったものの、良品も発生している。4、5番刈の一部で雨当たり被害が発生している模様。産地価格は前年よりも少し軟化して推移している。日本・韓国向けに引合いが強まってきているとも伝えられているが、科本科牧草の中では割安感もあるため、チモシーからの切り替えも有益であると思われる。
バミューダ	8月下旬の豪雨で一番被害を受けている草種と言われており、良品は限定的となることが見込まれている。
ストロー類	13年産の米国産ストロー類の収穫は、トールフェスクは7月上旬から、ライグラスは7月中旬から開始。雨当たり被害はほとんど発生していないが、特にトールフェスクは韓国向けの引合いが堅調であり、産地価格は軟化せずに推移している模様。
オーツヘイ	西、南、東の全ての輸出向け産地で、12年産はハイグレード品がほとんどで中間・ローグレードの発生量が少なく、雨当たり被害を酷く受けた11年産と真逆の作柄となった。一時期に比べると米国ドル対比で「豪州ドル安」で推移しており、日本側の輸入価格も若干弱含みで推移している。産地では、西・南の早い圃場で13年産の収穫が開始しているが、雨当たり被害が早くも発生している模様。西は10月上旬、南は9月下旬から本格的に収穫が始まるため、天候の回復が期待される。東では、10月中旬から収穫が開始する見込み。

生乳受託販売乳量

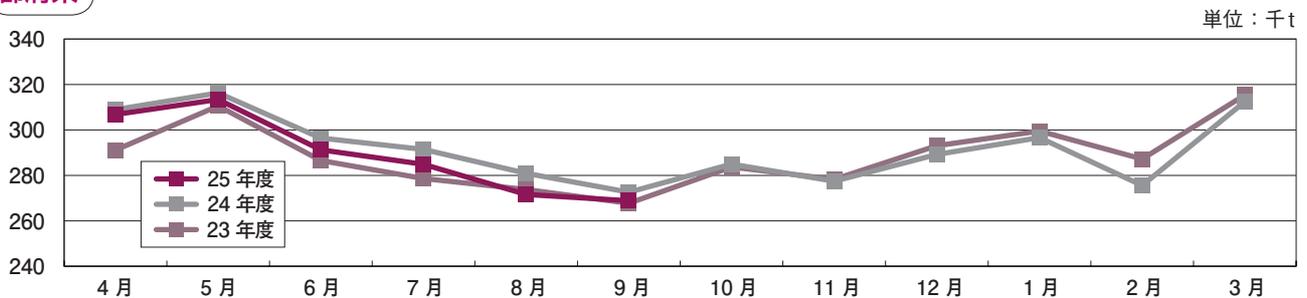
受託販売乳量

全国	571,872t で、前年同月に比べ 10,404t(1.8%) 減少した。	都府県	268,851t で、前年同月に比べ 3,756t(1.4%) 減少した。
北海道	303,021t で、前年同月に比べ 6,647t(2.1%) 減少した。		

北海道

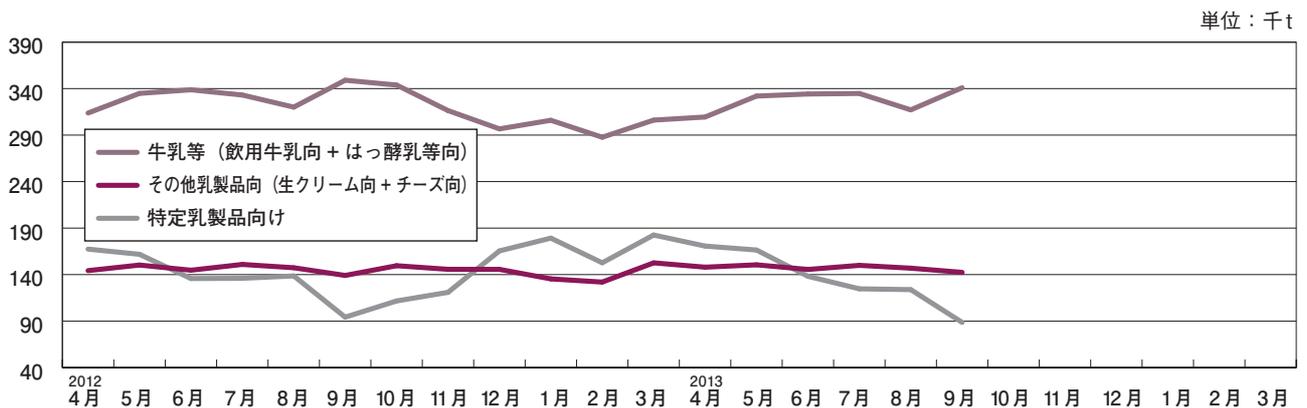


都府県



用途別販売数量

飲用向	299,317t で、前年同月に比べ 8,726t(2.8%) 減少した。	チーズ向	35,118t で、前年同月に比べ 3,213t(10.1%) 増加した。
はっ酵乳向	41,586t で、前年同月に比べ 647t(1.6%) 増加した。	特定乳製品向	88,579t で、前年同月に比べ 5,647t(6.0%) 減少した。
クリーム向	107,270t で、前年同月に比べ 112t(0.1%) 増加した。		



各地の需給動向

* 前年比については、閏年修正を行っておりませんのでご注意ください。

- 【仙台】9月生産は前年比99.2%と堅調。一方需要は9月初より逼迫感是一段落した。その結果、飲用向け需要は98.3%、特定乳製品向けは101.5%となった。発酵乳は103.9%と好調を維持している。
- 【関東】生産は上旬から下旬にかけて、日量は微増傾向。9月トータルでは前年比98.6%と若干回復。需要は、上旬逼迫が予想されていたが台風が上陸したこともあり、需給は均衡した。その結果、飲用向けは99.8%と6か月ぶりに前年を下回り、特定乳製品向けは102.3%となった。
- 【東海】生産は徐々に回復傾向。9月全体では前年比98.5%となった。
- 【近畿・中国・四国】9月上旬の生産は回復傾向も、中旬の3連休あたりから伸び止まり、下旬にかけては横ばいから微増。9月全体では近畿97.6%、中国98.6%、四国99%となった。一方需要は、月末まで大きな動きはなく推移した。(飲用牛乳向け前年比: 近畿97.3%、中国97.9%、四国97.3%)
- 【九州】生産は当初予測の前年比95.5%を大きく上回り、前年比98.9%となった。その結果、飲用牛乳向けは96.8%、特定乳製品向けは150.8%と大きく前年を上回った。

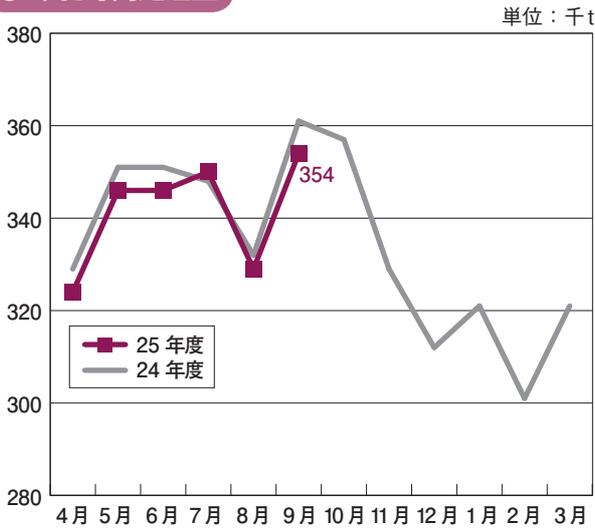
用途別生乳処理量

単位：千t

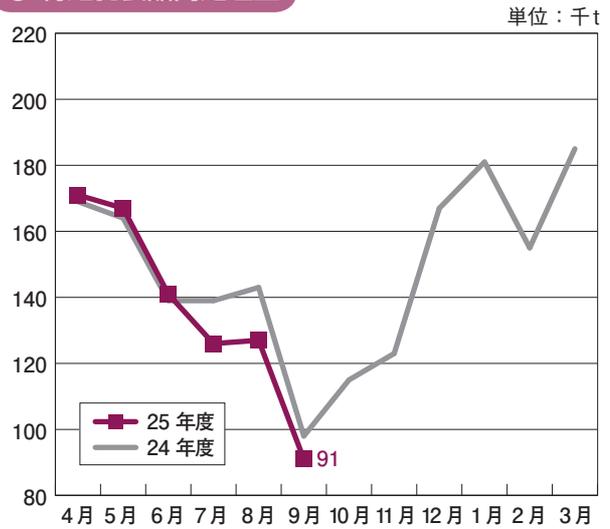
年月	生乳生産量	用途別処理量計							年月	生乳生産量	用途別処理量計						
		牛乳等向 ①	乳製品向		その他乳製品向			牛乳等向 ①			特 定 乳製品向 ②	その他乳製品向					
			特 定 乳製品向 ②	ク リ ャ ム 向 ③	チ ー ズ 向 ④	ク リ ャ ム 向 ③	チ ー ズ 向 ④										
2012. 4月	649	645	329	316	169	147	106	42	2013. 4月	650	645	324	321	171	150	106	44
5月	671	667	351	316	164	152	108	45	5月	671	666	346	320	167	153	107	46
6月	642	637	351	286	139	147	106	41	6月	638	633	346	287	141	147	105	42
7月	644	639	348	291	139	153	111	42	7月	632	627	350	278	126	151	109	42
8月	630	625	332	293	143	149	107	43	8月	608	603	329	274	127	147	107	40
9月	604	599	361	238	98	140	106	34	9月	593	588	354	235	91	144	107	37
10月	628	623	357	266	115	151	111	40	10月								
11月	605	600	329	271	123	147	109	39	11月								
12月	632	627	312	315	167	148	108	40	12月								
2013. 1月	644	639	321	319	181	138	96	42	2014. 1月								
2月	595	590	301	289	155	134	96	38	2月								
3月	664	660	321	339	185	155	113	41	3月								
年度計	7,608	7,550	4,012	3,538	1,777	1,761	1,276	485	年度計	3,792	3,764	2,049	1,715	823	892	642	251

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

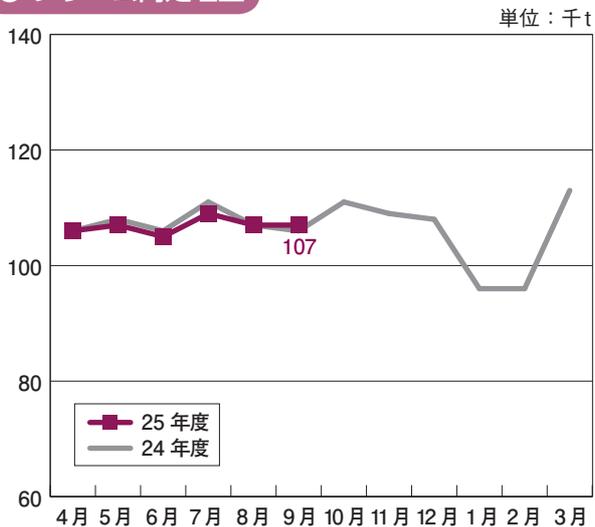
① 牛乳等向処理量



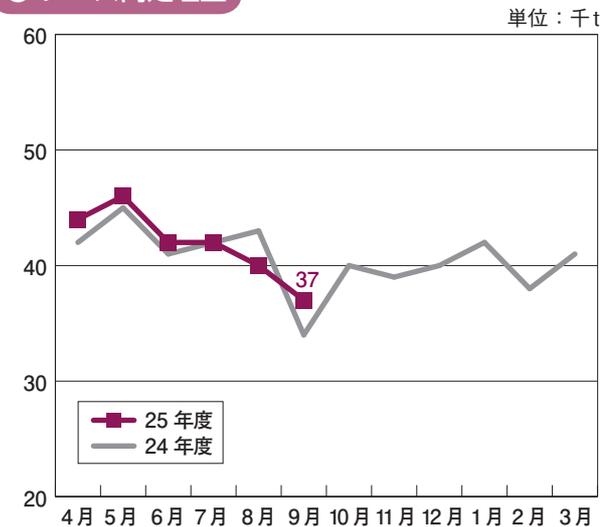
② 特定乳製品向処理量



③ クリーム向処理量



④ チーズ向処理量



特定乳製品（脱脂粉乳・バター）の国内生産及び出回り量の推移

※生乳需給動向の指標となる特定乳製品の生産及び消費の動向です。

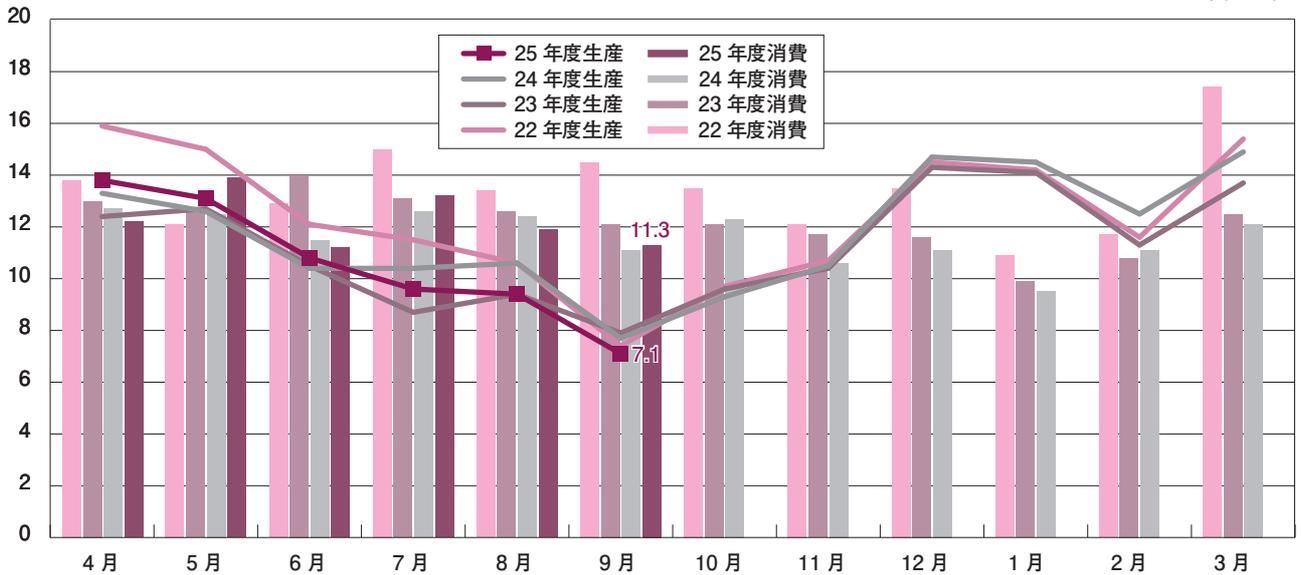
単位：千t

年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量	年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量
2012. 4月	13.3	12.7	6.7	6.4	2013. 4月	13.8	12.2	7.0	6.1
5月	12.6	12.5	6.5	6.4	5月	13.1	10.9	7.0	5.5
6月	10.4	11.5	5.5	6.8	6月	10.8	11.0	5.7	5.8
7月	10.4	12.6	5.4	6.2	7月	9.6	11.8	5.1	5.8
8月	10.6	12.4	5.6	6.0	8月	9.4	11.9	5.1	5.7
9月	7.7	11.2	3.7	5.8	9月	7.1	11.3	3.6	5.0
10月	9.3	12.5	4.3	5.6	10月				
11月	10.5	10.9	4.8	5.7	11月				
12月	14.7	11.1	6.2	7.8	12月				
2013. 1月	14.5	9.5	7.6	4.8	2014. 1月				
2月	12.5	13.9	6.3	6.5	2月				
3月	14.9	17.7	7.4	8.7	3月				
年度計	141.4	148.5	70.1	76.7	年度計	63.7	69.1	33.4	33.9

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、農畜産業振興機構、農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課調べ

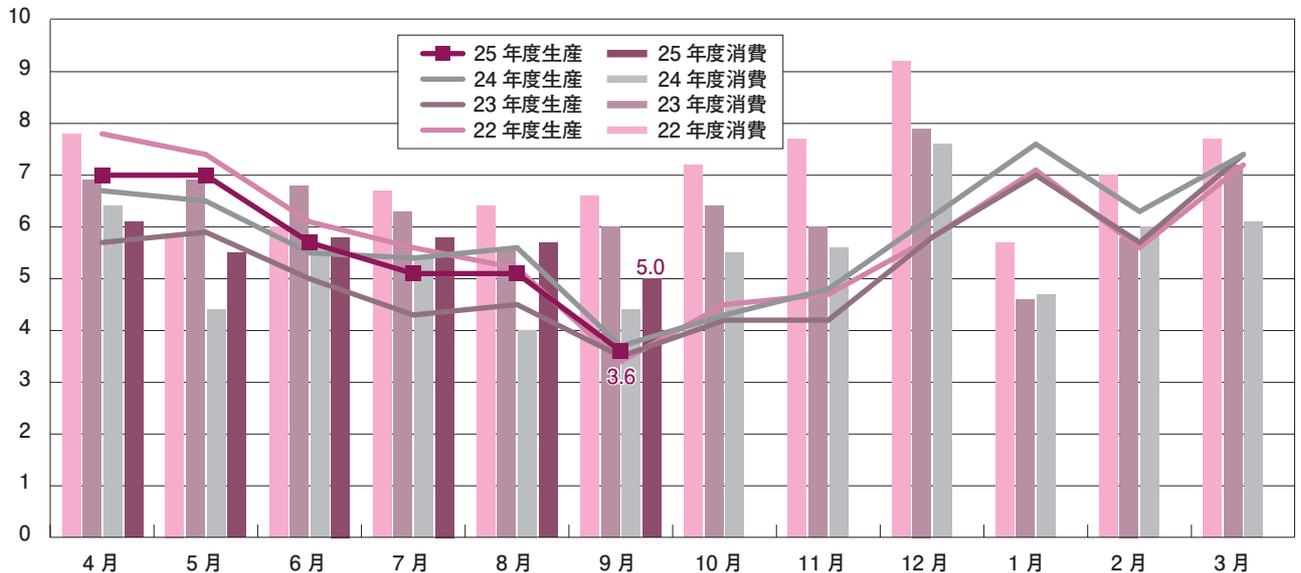
脱脂粉乳の生産及び出回り量推移

単位：千t



バターの生産及び出回り量推移

単位：千t



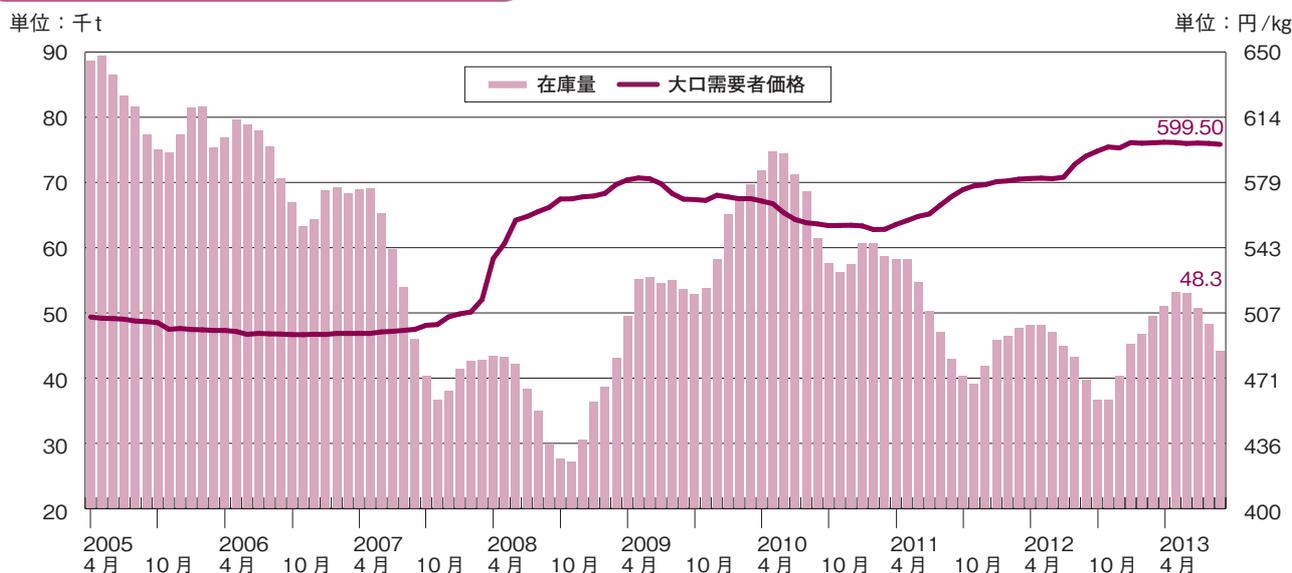
脱脂粉乳・バター国内在庫及び大口需要者価格の月別推移

区分	バター		脱脂粉乳		区分	バター		脱脂粉乳	
	期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格		期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格
年度/月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg	年度/月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg
2012. 4月	19.4	1,116.2	48.2	580.80	2013. 4月	24.4	1,177	51.0	600.65
5月	21.5	1,122.9	48.2	580.99	5月	25.8	1,178	53.2	600.50
6月	21.5	1,132.4	47.1	580.69	6月	25.7	1,178	53.0	599.96
7月	21.5	1,135.2	44.9	581.49	7月	25.0	1,177	50.7	600.19
8月	23.2	1,145.7	43.2	588.53	8月	24.5	1,178	48.3	600.00
9月	22.4	1,154.3	39.7	593.03	9月	23.0	1,178	44.1	599.50
10月	21.3	1,155.2	36.7	595.73	10月				
11月	20.5	1,159.0	36.6	598.06	11月				
12月	19.0	1,161.0	40.3	597.52	12月				
2013. 1月	21.9	1,165.7	45.3	600.42	2014. 1月				
2月	22.2	1,174.3	46.7	600.11	2月				
3月	23.5	1,174.3	49.5	600.34	3月				

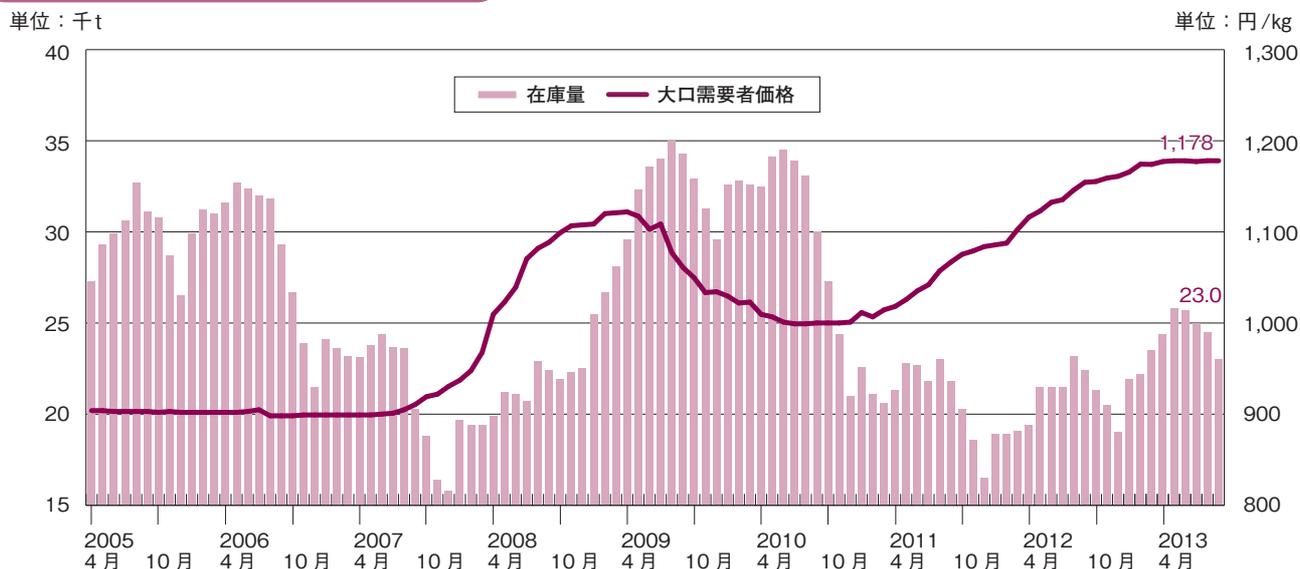
資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、大口需要者価格

※単価は税抜き

脱脂粉乳 国内在庫・大口需要者価格推移



バター 国内在庫・大口需要者価格推移



全酪連ギフト商品

について

本年度も「全酪連ギフトセット」お取り扱いの時期となりました。今年の冬季ギフトは11月中旬より1月末までの取扱となります。

まず、毎年多くの皆様よりご愛顧いただいていることに、感謝申し上げます。この冬のギフトにも全酪連オリジナルの乳製品セットの他に、ギフト商品の定番であるハム・ソーセージセット、アイスクリーム、麺類など幅広い商品をご用意させていただきました。

今回は紙面をお借りして、商品の詳しい内容についてご紹介させて頂きますのでご一読願います。

乳製品セット

今回は、定番の全酪乳製品セットZシリーズ（Z・A・B・C）に加え、今シーズンより「Z・Sセット」をリニューアルし取扱つこととなりました。また秋田・明通りチーズギフトと東毛酪農カマンベールチーズセットもご用意しております。

今回大幅にリニューアルしご用意させていただきましたZ・Sですが、従来同様「低価格帯ながら『贈り物』にふさわしいセット」とのコンセプトにより企画されております。内容としては、①定番の乳製品セットにはない「全酪スライスチーズ」「全酪とろけるスライスチー

Z「全酪脂肪分カットとろけるスライスチーズ」をご用意し、②個包装・簡易包装を省略しご自宅用としても家族で気軽に楽しめるセットであり、③お手軽なお値段で簡単なお遣い物にも利用しやすい点が特徴です。

商品内容

酪農家加塩バター200g×1個、酪農家6Pチーズ120g×1個、酪農家とろけるスライスチーズ144g×1個、酪農家スライスチーズ144g×2個、おいしいスモークチーズ75g×1個

Z・B

商品内容

酪農家加塩バター200g×2個、酪農家6Pチーズ120g×2個、酪農家とろけるスライスチーズ144g×1個、酪農家スライスチーズ144g×1個、おいしいスモークチーズ75g×1個、ゆるチーズ150g×1個

Z・C

商品内容

酪農家加塩バター200g×2個、酪農家6Pチーズ120g×2個、酪農家とろけるスライスチーズ144g×1個、酪農家スライスチーズ144g×2個、おいしいスモークチーズ75g×1個、ゆるチーズ150g×1個、パウダーチーズ70g×1個

Z・S

商品内容

酪農家加塩バター200g×1個、酪農家6Pチーズ120g×1個、全酪とろけるスライスチーズ144g×1個、全酪スライスチーズ144g×1個、全酪脂肪分カットとろけるスライスチーズ126g×1個、おいしいスモークチーズ75g×1個

産直ギフト

●秋田・明通りチーズギフト

【製造者 明通りチーズ工房（秋田県羽後町）

「アヴァチーズ」とは、雄勝酪農農業組合の婦人部が、スイスのグリュイエールチーズ工房内で「チーズの苦手な方

でも、とてもおいしく食べられる」チーズに出会い、いつか私達も「誰もがおいしく食べられるチーズ」を作ろうという気持ちから、今日「明通りチーズ工房」の完成まで熱い思いで続けてきました。チーズの苦手な方でもおいしく食べられるチーズ作りに挑戦し、専門家の協力を得て試作を重ね、イタリアのベルバエーゼというチーズを基本にしてアレレンジを加えたオリジナル熟成チーズです。

商品内容

アヴァブレンド約40g×2個、アヴァブラック約40g×2個、アヴァレッド約40g×1個、カチョカヴァロ約100g×1個

●東毛酪農カマンベール3個セット

【製造者 東毛酪農協同組合（群馬県新田郡新田町）

おいしいチーズを造るために厳選した農家の生乳を使い、伝統的な手造りの製法で造られたカマンベールチーズ（ナチュラルチーズ）を熟成した食べ頃の状態まで密封パックしました。パッケージを開けた時が「食べ頃」で、やさしい味わいが楽しめます。「第4回オール・ジャパン・ナチュラルチーズコンテスト」のソフトタイプチーズ部門で優秀賞に輝く、珠玉の逸品です。

商品内容

カマンベールチーズ100g×3個

●飛騨バターギフトセット

〔製造者〕 飛騨酪農農業協同組合
(岐阜県高山市)

アルプスバターは保存料・着色料等を使用していない手造りバターの逸品です。はちみつバターははちみつとバターをブレンドしました。トーストやホットケーキに好評です。

商品内容

アルプスバター200g×1個、はちみつバター130g×2個

●奥中山アイスセット

〔製造者〕 奥中山高原農協乳業株式会社
(岩手県二戸郡二戸町)

岩手県の奥中山高原で育ったカナディアンジャージー種のミルクを贅沢に使った、コクのあるスーパープレミアムな味わいのアイスクリームです。着色料等を使用せず、自然のおいしさにこだわりました。Sセットとーセットの2種類のセットをご用意しております。

商品内容

バナラ130ml×2個、ブドウ130ml×2個、洋なし130ml×2個、イチゴ130ml×2個

●奥中山アイスーセット

商品内容

バナラ130ml×2個、ブドウ130ml×2個、洋なし130ml×2個、イチゴ130ml×2個、コーヒー130ml×2個、抹茶130ml×2個

●長崎カステラセット

〔製造者〕 有限会社杉谷本舗(長崎県諫早市)

牛乳、チーズをふんだんに使用したカステラはふっくら、しっとりキメ細やかな生地が特徴です。地域ブランド「長崎カステラ」の認定工場で製造しております。セットは2本入りと3本入りの2種類をご用意しております。

商品内容

(2本セット)
牛乳風味1本、チーズ風味1本(各370g 10カットタイプ)
(3本セット)
牛乳風味1本、チーズ風味1本、蜂蜜風味1本(各370g 10カットタイプ)

●大山ロールケーキと大福3種のセット

〔製造者〕 大山乳業農業協同組合
(鳥取県東伯郡)

ふんわりとした生地にミルク風味のクリームを巻いたロールケーキと、生クリーム、カフェオレ、抹茶の3種類の大福の詰め合わせです。

商品内容

ロールケーキ(長さ約14cm)×1本、生クリーム大福×2個、抹茶大福×2個、カフェオレ大福×2個

●全酪ラーメンセット

〔製造者〕 江崎製麺有限公司(福岡県筑後市)

豚骨、鶏がらをじっくり煮込んだコクのある本場博多とんこつラーメンとみそ風味を活かしたみそラーメン。各種野菜

菜エキスをバランス良く調整した切れのあるしょうゆラーメンのセットです。

商品内容

全酪博多ラーメン
とんこつ味5食、とんこつみそ味5食
しょうゆ味10食

加工肉セット

●平牧三元豚ロールステーキギフト

(HS09-4)

「平牧三元豚」とびうおのだし」の新しい食べ方、『三元豚ロールステーキ』。キメが細かくて柔らかい、甘味のある三元豚をクルクル巻いて、ステーキ状にしました。上品なおいしさを、ストレートに感じられる一品です。

商品内容

平牧三元豚ロールステーキ75g×8個、とびうおだし50ml×2袋

●SP-104・SP-105

(ロースハム・ベーコンセット)(全日本農協畜産公社)

商品内容

(SP-104)
熟成糸巻ロースハム360g、焼豚340g
(SP-105)
熟成糸巻ロースハム360g、焼豚340g、ベーコン260g

●DF-100(ローストビーフセット)

商品内容

ローストビーフ(和牛)300g×2個

●OC-40・OC-50

(ベーコン・フランク・ウインナーセット)

(焼オホーツククリンミート)

おこつペハムは北海道産の厳選豚肉をオホーツククリンミート社独自の塩漬製法により製造されております。平成16年よりスタートした道産食品独自認証制度」のロースハム・ボンレスハム・ベーコンの各部門で弊社商品が第1号の認証をいただいております。ハム・ソーセージにこだわりをお持ちの皆様にご賞味いただきたいセットをご用意させて頂きました。

商品内容

(OC-40)
北海道認証ベーコン80g×1個、北海道ポークフランク220g×1個、あらびきウインナー110g×1個、ガーリックウインナー110g×1個、あらびきフランク200g×1個、行者にんにくウインナー120g×1個
(OC-50)
北海道認証ベーコン300g×1個、北海道認証ベツバポーク320g×1個、あらびきウインナー110g×1個、ガーリックウインナー110g×1個、バジリコフランク240g×1個、あらびきフランク200g×1個

(上記各セットにより取扱期間が異なります。)

最後になりましたが、全酪連乳製品セット(冷蔵)をはじめ冷蔵、冷凍品も多数含まれています。商品を最適な状態でお召し上りいただけるよう、受け取られましたら、お早めに冷蔵(冷凍)庫にお入れください。

今後とも、全酪連ギフトセットをよろしく願いたします。

●産直ギフト



秋田県

秋田・明通りチーズギフト

税込3,465円(本体3,300円)

アヴァプレーン約40g×2個/アヴァブラック約40g×2個/アヴァレット約40g×1個/カチョカヴァロ約100g×1個

〈アレルギー物質〉乳

お取扱期間 11/18~1/31

冷蔵 普通



群馬県

東毛酪農カマンベール3個セット

税込2,625円(本体2,500円)

カマンベールチーズ100g×3個

〈アレルギー物質〉乳

お取扱期間 11/18~1/31

冷蔵 簡易 短



岐阜県

飛騨バターギフトセット

税込3,000円(本体2,857円)

アルプスバター200g×1個/はちみつバター130g×2個

〈アレルギー物質〉乳

お取扱期間 11/18~1/31

冷蔵 全 短



岩手県

奥中山アイスセット

税込3,990円(本体3,800円)

バニラ130ml×2個/ブドウ130ml×2個/洋なし130ml×2個/イチゴ130ml×2個

奥中山アイス1セット

税込5,250円(本体5,000円)

バニラ130ml×2個/ブドウ130ml×2個/洋なし130ml×2個/イチゴ130ml×2個/コーヒー130ml×2個/抹茶130ml×2個

〈アレルギー物質〉乳・卵

お取扱期間 11/18~1/31

冷凍 普通 短



長崎県

長崎カステラセット2本入り

税込2,940円(本体2,800円)

牛乳カステラ370g×1本/チーズカステラ370g×1本 ※10等分カットタイプ

長崎カステラセット3本入り

税込3,990円(本体3,800円)

牛乳カステラ370g×1本/チーズカステラ370g×1本/蜂蜜カステラ370g×1本 ※10等分カットタイプ

〈アレルギー物質〉小麦/乳/卵

お取扱期間 11/18~1/31

全 普通



鳥取県

大山ロールケーキと大福3種のセット

税込3,360円(本体3,200円)

ロールケーキ(長さ約14cm)×1本/生クリーム大福×2個/抹茶大福×2個/カフェオレ大福×2個

〈アレルギー物質〉小麦/乳/卵

お取扱期間 11/18~1/31

冷凍 短



福岡県

全酪ラーメンセット

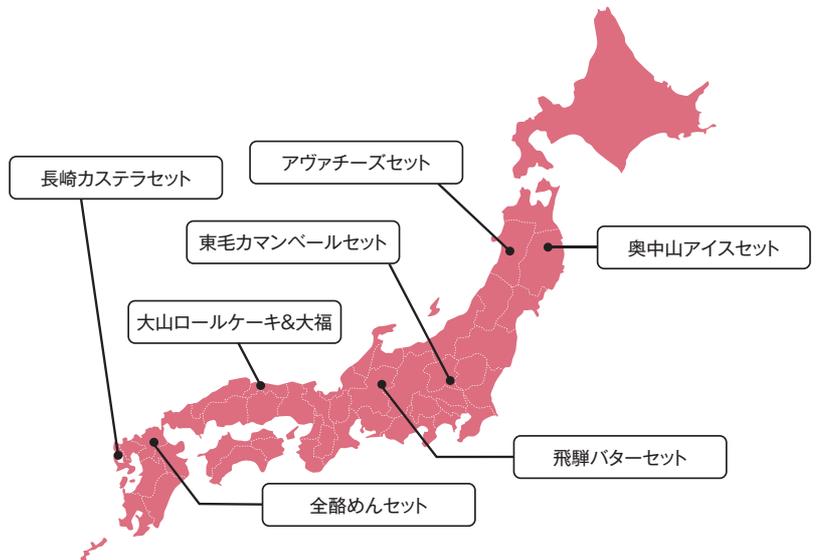
税込4,410円(本体4,200円)

全酪博多ラーメンとんこつ味×5食/とんこつみそ味×5食/しょうゆ味×10食

〈アレルギー物質〉小麦/大豆/牛肉/鶏肉/豚肉/魚介類/ゼラチン

お取扱期間 11/18~1/31

全 短



変更する場合があります。●商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。●掲載商品の価格には、配送料が含まれております。

2013 Zenraku Winter Gift

毎年恒例の「全酪連ギフトセット」の取り扱い時期となりました。

お世話になった方や大切な方への冬の贈り物に、

是非、弊会ギフトセットをご利用頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、昨年に引き続き、環境にやさしい簡易包装を採用している商品が
ございますので、ご理解とご協力のほど併せてよろしくお願い申し上げます。

お申し込みにつきましては、お近くの支所までお問合わせください。

● 乳製品セット



Z-A 税込3,465円(本体3,300円)

酪農家バター200g×1個 / 酪農家6Pチーズ120g×1個 / 酪農家とろけるスライスチー
ズ144g×1個 / 酪農家スライスチーズ144g×2個 / おいしいスモークチーズ75g×1個

〈アレルギー物質〉乳

お取扱期間 11/18~1/31



Z-B 税込4,725円(本体4,500円)

酪農家バター200g×2個 / 酪農家6Pチーズ120g×2個 / 酪農家とろけるスライスチー
ズ144g×1個 / 酪農家スライスチーズ144g×1個 / おいしいスモークチーズ75g×1個
／ぬるチーズ150g×1個

〈アレルギー物質〉乳

お取扱期間 11/18~1/31



Z-S 税込2,625円(本体2,500円)

酪農家バター200g×1個 / 酪農家6Pチーズ120g×1個 / 全酪脂肪カットとろけるスラ
イスチーズ126g×1個 / 全酪とろけるスライスチーズ144g×1個 / 全酪スライスチー
ズ144g×1個 / おいしいスモークチーズ75g×1個

〈アレルギー物質〉乳

お取扱期間 11/18~1/31



Z-C 税込5,250円(本体5,000円)

酪農家バター200g×2個 / 酪農家6Pチーズ120g×2個 / 酪農家とろけるスライスチー
ズ144g×1個 / 酪農家スライスチーズ144g×2個 / おいしいスモークチーズ75g×1個
／ぬるチーズ150g×1個 / パウダーチーズ70g×1個

〈アレルギー物質〉乳

お取扱期間 11/18~1/31



●加工肉



平牧三元豚ロールステーキギフト(HS 09-4)

税込4,290円(本体4,086円)

平牧三元豚ロールステーキ75g×8個/とびうおだし50ml×2袋
(アレルギー物質) 豚肉/小麦/大豆/さば/ゼラチン

お取扱期間 11/18~1/31

(12/27~1/8は出荷対応出来ません)

冷凍 普



SP-104 税込4,400円(本体4,190円)

熟成糸巻ロールハム360g/焼豚340g

(アレルギー物質) 小麦/大豆/豚肉

お取扱期間 11/25~12/13

冷蔵 簡易 短



SP-105 税込5,500円(本体5,238円)

熟成糸巻ロールハム360g/焼豚340g/ベーコン280g

(アレルギー物質) 小麦/大豆/豚肉

お取扱期間 11/25~12/13

冷蔵 簡易 短



DF-100 税込11,000円(本体10,476円)

ローストビーフ(和牛)300g×2個

(アレルギー物質) 牛肉/乳/小麦/大豆/鶏肉/りんご

お取扱期間 11/25~12/13

冷凍 簡易 短



OC-40 税込3,800円(本体3,619円)

北海道認証ベーコン80g×1個/北海道ポークフランク220g×1個/あらびきウィンナー110g×1個/ガーリックウィンナー110g×1個/あらびきフランク200g×1個/行者にんにくウィンナー120g×1個

(アレルギー物質) 乳/豚肉

お取扱期間 11/18~1/31

冷蔵 普 短



OC-50 税込4,800円(本体4,571円)

北海道認証ベーコン300g×1個/北海道認証ペッパーポーク320g×1個/あらびきウィンナー110g×1個/ガーリックウィンナー110g×1個/バジリコフランク240g×1個/あらびきフランク200g×1個

(アレルギー物質) 豚肉

お取扱期間 11/18~1/31

冷蔵 普 短

■全国酪農協同組合連合会

- 本所 酪農部 〒108-0014 港区芝4-17-5 相鉄田町ビル7F TEL 03-5931-8008 FAX 03-5931-8025
(東京支所)
- 札幌支所 〒060-0003 札幌市中央区北3条西7-1 酪農センター TEL 011-241-0765 FAX 011-241-0769
- 仙台支所 〒980-0021 仙台市青葉区中央1-7-20 東邦ビル3F TEL 022-221-5381 FAX 022-221-5384
- 名古屋支所 〒465-0008 名古屋市中区栄1-16-6 名古屋三蔵ビル3F TEL 052-209-5611 FAX 052-209-5614
- 大阪支所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-14-10 サムティ新大阪フロントビル6F TEL 06-6305-4196 FAX 06-6305-4899
- 福岡支所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-2-15 事務機ビル7F TEL 092-432-2121 FAX 092-431-6313

取扱上のご注意

1. 配送地区に制限のある場合もありますので、ご確認ください。なお、離島につきましては原則として配達できませんので、予めご了承ください。
2. お申込後のご返品、お取り消し(お届け先様ご不在、ご移転で転居、受け取り拒否等による)扱いはいたしませんので予めご承知おきください。
3. お届け先様のご不在における取扱は、配送業者の取扱規定により対応します。
4. 掲載商品の価格には消費税及び配送料が含まれております。
5. 詰合せ内容・商品デザイン及び配列については、お断りなく一部変更する場合があります。
6. 商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。
7. **冷凍** **冷蔵** マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵でのお届けになります。
8. **簡易** **全** マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包装となります。また、表示のない商品には包装はありません。(簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態のことです。)
9. **普** **短** マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊サイズの熨斗となります。

酪政連活動報告

平成 25 年 8 月～ 25 年 10 月

日本酪農政治連盟

8/27	<p>自民党農林部会等合同会議 (副委員長ほか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成 26 年度予算概算要求について説明 ◆ 各団体より要請 	10/2	<p>自民党畜産振興議員連盟総会 (委員長、幹事長ほか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成 26 年度予算、税制改正に関する説明 ◆ 各団体の要請、意見交換
9/2	<p>日本の畜産ネットワーク「第 19 回 TPP 交渉会合報告会」(幹事長)</p>	10/2	<p>全中大会「食と命と暮らしを守る全国代表者集会」(委員長、幹事長ほか)</p>
9/4	<p>自民党外交・経済連携本部、TPP 対策委員会合同会議(幹事長ほか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ TPP ブルネイ会合の報告、意見交換 		<p>自民党「TPP 交渉における国益を守り抜く会」(幹事長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ TPP 交渉バリ会合に向けての意見交換
9/4	<p>自民党 TPP 交渉における国益を守り抜く会(幹事長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ TPP ブルネイ会合の報告、意見交換 	10/3	
9/6	<p>日本の畜産ネットワーク会員向け「第 19 回 TPP 交渉会合報告会」 (委員長、幹事長)</p>	10/4	<p>TPP 交渉バリ会合(副委員長、幹事長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 情報収集、団体要請、交渉激励のためバリ島へ渡航
9/9	<p>TPP 政府対策本部「TPP ブルネイ交渉に関する説明会」(幹事長)</p>	10/10	
9/11	<p>九州生乳販連研修会(幹事長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 同販連役員と九州選出国会議員との会合 ◆ 酪農家の窮状を理解してもらうのが趣旨 		<p>自民党経済連携本部・TPP 対策委員会合同会議(委員長ほか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ TPP 交渉バリ会合の報告、意見交換 ◆ 石破幹事長、衛藤本部長、甘利大臣が挨拶 ◆ 西川委員長、森山副委員長から報告 ◆ 西川委員長発言への質疑多し。タリフラインの検証は削るためではなく、守るために必要との答弁
9/13	<p>TPP 対応検討協議会(幹事長) …中央畜産会事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 今後の TPP 関連活動について 	10/10	
9/19 ↓ 9/27	<p>日本の畜産ネットワークによる要請活動 (委員長、幹事長ほか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ TPP 交渉における重要 5 品目ほか国会決議等の厳守を要請 ◆ 石破茂幹事長、野田聖子総務会長ほか計 13 人へ要請 	10/11	<p>日本の畜産ネットワーク「TPP 首脳会議バリ報告会」(委員長、幹事長)</p>
		10/15	<p>自民党「TPP 交渉における国益を守り抜く会」(幹事長ほか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ TPP 交渉会合の状況、重要 5 品目の検証について ◆ 西川委員長発言、マスコミ報道内容への質疑多し

移行期牛の栄養と管理 [パートⅢ]

～初産牛と経産牛のそれぞれに重要な管理戦略～

全酪連は、2013年12月にコーネル大学畜産学部教授トーマス・オバートン博士を講師に迎え、全国6会場にて、全酪連酪農セミナー(平成25年度)を開催いたします。講師のオバートン博士は、移行期の乳牛における各栄養素の代謝・肝機能の先端研究と酪農現場への普及活動において世界中で大変活躍されている人物です。今回の酪農セミナーでは、特に移行期の栄養代謝・飼養管理における重要なポイントを中心に、2006年の同博士によるセミナーに続く、正しい情報を総括してご紹介する予定です。また、セミナーとは別に、研究者・指導者の皆様のために最先端情報を整理するワークショップも開催します。是非ご参加ください。

講師略歴

トーマス・オバートン博士
(コーネル大学 畜産学部教授)



- 1991年 コーネル大学を卒業
- 1995年 イリノイ州立大学にて修士号取得
- 1998年 イリノイ州立大学にて博士号取得
- 1998年 コーネル大学にて博士号取得後の研究
- 1998年 コーネル大学 乳牛管理/栄養-助教授
- 2004年 コーネル大学 乳牛管理/栄養-準教授
- 2013年 コーネル大学 乳牛管理/栄養-教授

酪農セミナー2013

[第1章] ミネラル

- カルシウムの代謝状況と免疫・子宮の健康・繁殖との関連
- 低カルシウム血症・乳熱とDCAD
- 粗飼料ミネラルの重要性

[第2章] エネルギー&蛋白質

- ケトosisと脂肪肝の問題
- 特に初産牛の飼料中エネルギー・蛋白への考察
- 乾乳1群管理の栄養管理戦略
- 乾乳期間短縮における栄養管理戦略
- バイパス蛋白とアミノ酸の重要性

[第3章] 初産牛

- ターゲット・グロウス・システム
- 離乳～春機発動・春機発動～授精・授精～クローズアップ・産褥期のポイント
- 初乳とそれに続く乳生産
- 初期(哺育期)栄養がその後の生産性に及ぼす影響
- 初産牛の過肥問題

[第4章] 産褥牛管理

- 産褥牛飼料の考察(澱粉・有効繊維・代謝蛋白・飼料添加物)
- 泌乳に向けたルーメンの移行
- 産褥牛への栄養ガイドライン

[第5章] 移行期牛における環境・部分け・施設考察

- 飼養密度の問題
- 初産牛と経産牛の同居
- 乾乳期間日数における栄養・群分けに関する考察
- 暑熱ストレスへの対策(夏季の乾物摂取量低下への対策・飼料設計上の問題)

[第6章] 観察と評価

- 代謝状態の評価
- 潜在性ケトosisを集中的にモニターすることの意味
- 代謝産物をモニター・診断する戦略
- 群分け・施設管理の評価

[第7章] 乳成分

- 乳脂肪と乳蛋白の素となる基盤
- 乳蛋白生産に及ぼす要因と効率的窒素利用(MUNへの考察)

ワークショップ2013

[第1章] 移行期牛に関する過去10年間の発見

- カルシウム状態と免疫機能・子宮の健康
- 乾乳牛の栄養とインスリン抵抗性との関係
- 移行期牛における蛋白とアミノ酸代謝
- 群分け・施設・暑熱ストレスに関する新情報
- 代謝物の測定結果を移行期牛の評価に利用する
- 産褥期の頻回搾乳による泌乳量増加

[第2章] 移行期牛と搾乳牛の飼料設計ガイドライン

- 各ステージにおける栄養推奨についての解説

[第3章] ニューヨーク州における移行期牛の基準と問題

- トラブル・シューティングの実例詳細

[第4章] CNCPS新情報

- 最近の開発状況
- CNCPS v6.1における変更点・油脂サプリメントの問題・脂質代謝のキャパシティと乳脂肪生産
- 乾乳牛における蛋白・エネルギー考察
- 産褥牛における考察・ガイドライン

[第5章] コーネル大学の新酪農研究施設紹介

日時と場所

12月 9日 ㊦	熊本セミナー	火の国ハイツ
12月10日 ㊦	岡山セミナー	岡山国際交流センター
12月12日 ㊦	名古屋セミナー	名古屋マリriott・アソシア
12月13日 ㊦	仙台セミナー	フォレスト仙台
12月16日 ㊦	帯広セミナー	ホテル日航ノースランド帯広
12月17日 ㊦	全酪連ワークショップ	東急イン帯広
12月19日 ㊦	東京セミナー	目黒雅叙園

各会場とも開会は10:00、閉会16:00となります

参加費

1名様 ¥5,000 (テキスト・昼食代含む)

対象

酪農家・組合役職員・公的指導機関、あるいは研究者・獣医師・コンサルタントの方々

北海道 乳牛産地情報

平成25年11月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇄……やや弱含み ↓……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	28~32	→	10月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で94.3%、累計で98.4%、苫小牧管内月計で95.2%、累計で96.5%の実績となっております。11月の初妊牛の動向は、ホル授精と和牛授精、上物と下物との価格差は大きくなると思われませんが、平均価格としては横這いで推移するものと思われます。育成牛につきましても、初妊牛の価格の高値感から上物を中心に横這いで取引になるものと思われます。
	初妊牛	48~53	→	
	経産牛	43~48	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	30~37	→	10月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で95.9%、累計で100.0%、中標津管内月計で93.3%、累計で97.9%の実績。11月の初妊牛の動向は、メガファームの導入意欲が相変わらず強く、F1腹中クラスの初妊牛については特に引合いが強く、相場も上昇傾向にあります。相場の48万~50万についてはホル腹という意味で捉えて頂きたく、F1腹については50万以上、特にF1腹中クラスは53万からとなっており、売り側も強気傾向です。分娩月については1月中旬~2月分娩中心で動くと思われれます。
	初妊牛	48~57	⇄	
	経産牛	40~47	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	29~34	→	10月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で98.8%、累計で100.4%の実績となっております。11月の初妊牛動向につきまして、1月中旬~2月の分娩腹が中心となり、F1腹の引き合いが特に強くなると予想され、初妊牛全体の価格についても堅調に推移するものと考えられます。都府県・道内問わず、荷動きが激しい時期となりますので、分娩月等幅を持たれて注文を頂きますようお願い申し上げます。
	初妊牛	50~56	⇄	
	経産牛	45~50	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	27~32	→	10月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で96.9%、累計で100.2%、北見管内月計で96.4%、累計で99.6%の実績。11月の初妊牛の動向につきましては、10月下旬からの下牧により資源も豊富で、1月~2月分娩中心となります。都府県の需要も徐々に増加傾向にあり引き合いが強くなるものと思われませんが、価格については横這いで推移するものと思われれます。
	初妊牛	47~55	→	
	経産牛	35~45	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	28~35	→	道内の10月中旬までの生乳生産量前年比は月計で96.1%、累計で99.3%の実績。11月の初妊牛動向としては、先月に引続きメガファームの導入、それに付け加え道内では新規就農者の導入、各地域での生乳生産量増加に向けての導入助成を行うなど、購買意欲についても活発になってきています。夏季下牧については、放牧地の草が少ないことから例年より10日ほど早く山から下ってきており、10月末には下牧は終了しそうです。この時期においては購買の注文が集中することから、購買予定がありましたら、分娩月、価格等余裕を持たれて注文頂きますようお願い申し上げます。
	初妊牛	48~56	⇄	
	経産牛	42~48	→	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。庭先選畜購買のため、市場購買とは異なり、価格差が生じます。

今月の表紙

第4回酪農いきいきフォトコンテスト

今月の表紙は、「第4回酪農いきいきフォトコンテスト」(第42回全国発表大会にて開催)で入選された作品(北海道池田 辰夫氏 撮影)です。雄大な自然の中に牛がいる光景は、まさに「これぞ北海道!」と言うにふさわしい作品です。



編集後記



▼早いもので2013年もあと2ヶ月を切りました。今年やれることはやりきって新年を迎える準備を始めましょう。

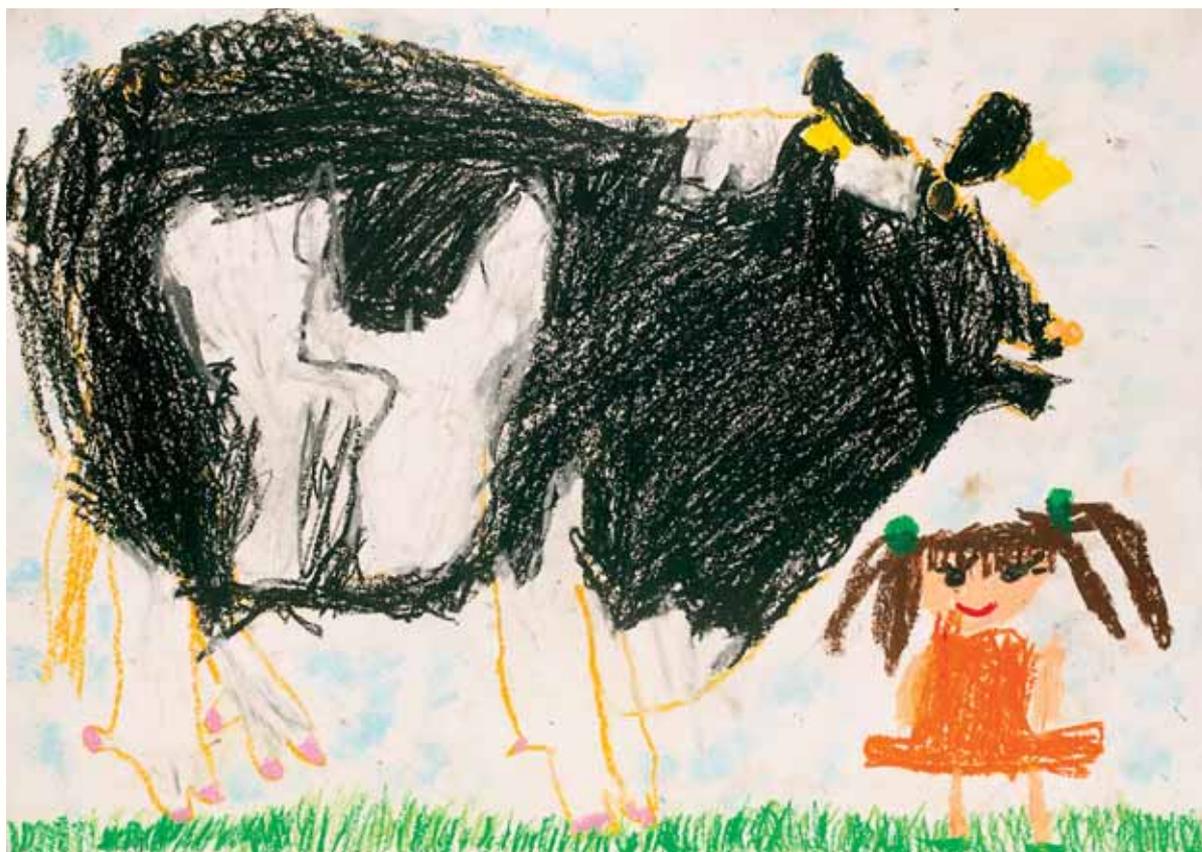
▼会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです

shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

平成25年11月10日発行(毎月1回10日発行)

ZENRAKUREN
 MEMBER'S INFORMATION
 全酪連会報 11月号 No.578

●編集・発行人 中島 裕志郎
 ●発行 全国酪農業協同組合連合会
 〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号
 TEL 03-5931-8003
<http://www.zenrakuren.or.jp/>



今月の



入賞作品介绍

シルビアとあそんだよ

大家小学校(関甲信)1年 佐久間 紬



今月の入選作品は、大家小学校(関甲信)1年の佐久間 紬さんの「シルビアとあそんだよ」です。

画面いっぱいに牛さんの大きさを表現した迫力ある作品です。力強いタッチでしっかり描いています。足先の細かい部分までよく観察しています。女の子の笑顔が良いですね。

※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第40回らくのうこどもギャラリー」で全国377点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議